

工 事 仕 様 書

- 工 事 名 称 ペアシティ三原西館再編改修工事（給排水衛生設備工事）
- 工 事 場 所 三原市城町一丁目
- 工 事 内 容 本工事は、ペアシティ三原西館再編に伴う給排水衛生設備工事を行う。
- ・1階 テナント改修工事
 - ・2階 児童館改修工事
 - ・3階 老人大学改修工事
 - ・4階 会議室，貸室改修工事
- 準 則 本設計図，仕様書による他は公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）平成28年版に基づき施工する。
- 疑 義 変 更 本設計図書は，設計の大要を示すものであり，詳細部等，技術的に必要な事項は，明記なくとも完全に施工すること。施工に際して疑義を生じた場合，または軽微な変更を必要とする場合には速やかに係員と協議し，係員の指示により施工すること。
- ただし，これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。
- 提 出 書 類 係員の指示する書類は，遅滞なく提出すること。
- 本工事に使用する機器，材料等は，係員の指示により見本品，カタログ等を提出し，承認を受けること。
- 現況写真，施工写真，完成写真を提出すること。
- 一 般 事 項 官公庁その他への手続きは，受注者の負担で遅滞なく行うこと。
- 施工箇所周囲に対する養生・清掃については十分にこれを行うこと。
- 契約後，早期に係員等と工事打合せをすること。
- 工事による周辺への影響を最小限に留めるよう鋭意努力すること。
- 工 期 本工事は，令和2年7月30日を完成期限とする。
- ただし，検査期間として工期の内13日間を見込んでいる。
- そ の 他 工事中，第三者への安全対策を十分に講ずること。
- 本工事は，施設利用者の安全を最優先し，丁寧な説明と施工により理解と協力を得ながら実施すること。
- 前払金については，令和元年度中に請負代金額の10分の4を支払うものとする。

令和元年度の間前金払制度及び、建設工事請負契約約款第 37 条（部分払）については、令和 2 年 4 月以降の適用とする。

工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に、必要な場合には交通整理誘導員を配置し事故及び危険防止に努めること。

以下の設計図面は、A2 版を A3 版に縮小している（縮小率 70.7%）

ペアシティ三原西館再編改修工事（給排水衛生設備工事）設計図

種別	符号	図面番号	図面名称	縮尺
			表紙	
			図面目録表	
機械	M	1	機械設備工事仕様書-1 (共通仕様)	
機械	M	2	機械設備工事仕様書-2 (衛生)	
機械	M	3	工事区分表	
機械	M	4	付近見取図・配置図	1/500
機械	M	5	ガス系統図 (改修後)	
機械	M	6	1階衛生平面図 (改修前)	1/200
機械	M	7	1階衛生平面図 (改修後)	1/200
機械	M	8	2階衛生平面図 (改修前)	1/200
機械	M	9	2階衛生平面図 (改修後)	1/200
機械	M	10	3階衛生平面図 (改修前)	1/200
機械	M	11	3階衛生平面図 (改修後)	1/200
機械	M	12	5階衛生平面図 (改修前)	1/200
機械	M	13	5階衛生平面図 (改修後)	1/200
機械	M	14	1階衛生詳細図 (改修前・後)	1/50
機械	M	15	2階衛生詳細図 (改修前・後)	1/50
機械	M	16	3階衛生詳細図 (改修前・後)	1/50
機械	M	17	1階消火平面図 (改修前)	1/200
機械	M	18	1階消火平面図 (改修後)	1/200
機械	M	19	2階消火平面図 (改修前)	1/200
機械	M	20	2階消火平面図 (改修後)	1/200
機械	M	21	3階消火平面図 (改修前)	1/200
機械	M	22	3階消火平面図 (改修後)	1/200
機械	M	23	4階消火平面図 (改修前)	1/200
機械	M	24	4階消火平面図 (改修後)	1/200

注 1) 区分は、●を、項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 2) 特記事項のうち選択する事項は、○の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。○印 ⊙印 ⊗印 の場合は両方を適用する。

区分	項目	特記事項
●	衛生器具設備	<p>① 大便器・小便器 ② 衛生器具ユニット ③ 小便器用洗浄水節水装置 ④ 自動水栓 ⑤ 衛生器具と排水管接続</p> <p>標記板は、取付け(・自動洗浄小便器は除く) ○取付けない ユニットの配管材は図示による。 ※ 個別感知方式(電源種別は ※ AC電源・乾電池・自己発電)・手動式 ※ 洗浄水量4リットル/回以下 【工事範囲は、電気一次側配管配線を除きすべて本工事とする。】 電源種別は ※ AC電源・乾電池・自己発電 ※ 標準図(施工62)・標準図(施工63)</p>
●	給水設備	<p>1. 量水器 2. 量水器樹 ③ 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>(1) 親メーター ※ 借用・買取り (2) 子メーター ※ 買取り・借用 (1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品・標準図(機材57) (2) 子メーター用 ※ 標準図(機材57)・水道事業者の指定品</p> <p>(1) 一般配管用 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB)(SGP-FVB) ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA)(SGP-FPA) ・一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) ・一般配管用ステンレス鋼管(SUS316) ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) (2) 土間配管用 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VD)(SGP-FVD) ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD) ・一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) ・一般配管用ステンレス鋼管(SUS316) ・水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) (3) 屋外土中用 ※ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VD)(SGP-FVD) ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD) ・水道用ポリエチレン二層管(50A以下)・水道用ポリエチレン管(75~150A) ・一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) ・一般配管用ステンレス鋼管(SUS316) (4) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合・ゴム輪接合 (5) 樹脂管の接合方法 50A以下・融着継手・金属製継手 75A以上融着継手 (6) ゴム輪接合の場合、直管以外の継手には離脱防止金具付とする。 (7) 特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 (8) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重碳酸イオン遊離炭酸、塩素イオン、シリカ、蒸発残留物</p> <p>4. 弁類 (1) 公営水道に直結する配管に使用するものは、JIS又はJV(10K)とする。 (2) 受水タンク以降の配管に使用するものは、JIS又はJV(5K)とする。ただし、特記部分は(10K)とする。 (3) 給水引込み部の・止水栓・弁類は水道事業者の指定品とする。 鋼板製、ステンレス製タンクの保温・施工する・施工しない ・標準仕様書による(附属品を含む)・水道事業者指定品 ※ 合成樹脂製・ステンレス製 (1) 屋外の水栓は、キーハンドル・一般水栓 (2) 台所流し用の水栓は泡沬式とする。 FRP製及びFRP製製水栓(保温形)は、マンホールも保温形とする。</p>
●	排水設備	<p>① 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>(1) 屋内汚水管 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)・排水通気用耐火二層管(VP)(第1樹まで含む) ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管・排水通気用鉛管 ・コーティング鋼管(・ノンタルエポキシ・塩化ビニル) ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) (2) 屋内雑排水管 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)・排水通気用耐火二層管(VP)(第1樹まで含む) ・配管用炭素鋼鋼管(白管)・排水通気用鉛管 ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・コーティング鋼管(・ノンタルエポキシ・塩化ビニル) ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) (3) 通気管 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)・排水通気用耐火二層管(VP) ・配管用炭素鋼鋼管(白管)・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) (4) 屋外排水管 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管(VU)・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・プレキャスト鉄筋コンクリート製品(外圧1種B形) ・水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(REP-VU) ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU)</p> <p>2. グリース阻集器 ※ 工場製作品(※ SUS製・鉄製・FRP製)・現場施工品 ・耐火被覆・標準図(施工66(a))を施工する。・施工しない</p>
●	ガス設備	<p>① 配管材料 (1) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼鋼管(白管)・ (2) 一般配管(ピット内)・ポリエチレン被覆鋼管・配管用炭素鋼鋼管(白) (3) 土間配管・ポリエチレン被覆鋼管・ガス用ポリエチレン管(JIS-K6774) (4) 屋外土中配管・ポリエチレン被覆鋼管・ガス用ポリエチレン管(JIS-K6774)・10Kg・20Kg・50Kg 本 ※ 借用・買取 (1) 親メーターは ※ ガス事業者より借用・買取 (2) 子メーターは ※ 買取り・ガス事業者より借用 (3) 子メーターの計量方式は ※ 直読・遠隔表示 自動切替式で施工方法は標準図(施工72)の(a)・(b)・(c) 施工方法は標準図(施工73)の(a)・(b) ・要(取付位置は図示による。外部出力端子・不要・要) ※ 不要 警報器から制御器、遮断弁(又はマイコンメーター端子)までの電線管は、別途電気工事・本工事 ・流量検知式(切替形又は圧力監視形)・圧力検知式 ビニール被覆支持金物、又は配管クランプ部を電気防止テープ巻き 都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。</p> <p>2. 液化石油ガス容器 ③ ガスメーター</p> <p>4. 容器廻りの配管 5. 容器転倒防止 6. ガス漏れ警報器</p> <p>7. 漏洩検知装置 8. 配管支持金物 9. その他</p>

●	給湯設備	<p>① 配管材料 ※ 保温付き被覆鋼管・鋼管・耐熱性ライニング鋼管・ステンレス鋼管 ※ 湯沸器、給湯器廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ JIS又はJV(5K)とする。ただし、水道直結部分及び特記部分は(10K)とする。 湯沸器の給排水気筒の覗い箇所は保温を行う。h(イ)K</p> <p>2. 弁類 3. 保温</p>
●	消火設備	<p>1. 消火栓弁の耐圧 ② 配管材料 (1) 屋内消火栓 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) 一般配管(ピット内) ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(STPG370VS) ・配管用炭素鋼鋼管(白管) 土中配管用(土間を含む) ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS) 一般配管用 ※ 圧力配管用炭素鋼鋼管 一般配管(ピット内) ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(STPG370VS) ・圧力配管用炭素鋼鋼管 土中配管用(土間を含む)・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS) (1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない・施工する (2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない・施工する (3) 消火配管の保温は次による。 ・屋内消火栓 ※ 施工しない・施工する(・屋外露出・給水管に準じる範囲) ・スプリンクラー ※ 施工しない・施工する(・屋外露出・給水管に準じる範囲) ・連結送水 ※ 施工しない・施工する(・屋外露出・給水管に準じる範囲) ・連結取水 ※ 施工しない・施工する(・屋外露出・給水管に準じる範囲) ・屋内消火栓箱・易操作性1号消火栓箱・屋内2号消火栓箱 ※ 広範囲型2号消火栓箱 ※ 鋼板製・ステンレス鋼板製等(機器表による)</p> <p>4. 屋内消火栓箱 5. 屋外消火栓箱 ホース格納庫 6. 新ガス系消火剤の種類 (2) ハロゲン化物ガス ※ FK-5-1-12・HFC-227ea・HFC-23 ※ 手動・自動、手動切替式 ※ 手動・自動、手動切替式</p> <p>7. 新ガス系消火剤の起動方式 8. 二酸化炭素消火の起動方式</p>
○	浄化槽設備	<p>1. 処理種別及び方式 ・小規模合併処理(※ 担体流動方式・嫌気ろ床接触ばっ気方式 ・脱窒ろ床接触ばっ気方式・分離接触ばっ気方式) ・合併処理(・接触ばっ気方式・長時間ばっ気方式・回転接触方式)</p> <p>2. 形式 ※ ユニット形・現場施工形</p> <p>3. 処理能力 処理対象人員 _____人 処理水量 _____m³/d 流入BOD濃度 _____mg/ℓ</p> <p>4. 放流水水質 BOD _____mg/ℓ 以下 ※ 一般切土中の良質土(FRP槽周囲は山砂の類)・購入土 3ヶ月分相当を納入する。 性能責任施工とする。 竣工後6ヶ月間流入、放流のSS、BOD、PH、透し度、大腸菌個数等を(※報告する。・報告しない。)</p>

空調設備

区分	項目	特記事項																																																										
○	空気調和設備	<p>1. 設計用温湿度条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="2">室内(調整目標値)</th> </tr> <tr> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>28.0℃</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>19.0℃</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 冷水・温水・冷温水管 3. ドレン管 4. 冷却水管 5. 膨張・空気抜・補給水管 6. 空調用給水管 7. 蒸気給気管 8. 蒸気還水管 9. 油・油用通気管 10. 冷媒管 11. 弁類 12. ファンユニット</p> <p>※ 配管用炭素鋼鋼管(白管)・一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) ・配管用炭素鋼鋼管(白管) ※ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) ・配管用炭素鋼鋼管(白管)・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA) ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA) ※ 配管用炭素鋼鋼管(白管)・一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) ※ 一般配管用ステンレス鋼管(SUS304)・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA) ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA) ※ 配管用炭素鋼鋼管(黒管) ※ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370 黒sch40) ※ 配管用炭素鋼鋼管(黒管) ※ 断熱材被覆鋼管・鋼及び銅合金の継ぎ目無管 JIS又はJV(5K)とする。ただし、特記部分は(10K)とする。 ※ 冷温水管の接続部(往・還)にはボール弁を取り付ける。 ※ 流量調節弁・定流量弁を取り付ける。 (定流量弁は、ゲージ式流量可変式・カートリッジバルブ形) ※ 床置形にはサブドレンパンを設けるものとし、材料等はドレンパンに準ずる。 (1) 遠方操作スイッチのフラッシュプレートは金属製(アルミ、新金属も含む)とする。 (2) 遠方操作スイッチの渡り配管・別途工事・本工事 (3) 遠方操作スイッチの渡り配管・別途工事・本工事 (1) アルミニウム製は塗装を ※ 行う・行わない・亜鉛鉄板製 (2) 吸込GVFSは防火シャッター付吸込口を示す。 (1) ※ 低圧ダクト・高圧1ダクト・高圧2ダクト (2) 矩形ダクトは・アングルフランジ工法 ※ コーナーボルト工法(・共板工法・折付ワフランジ工法) (厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。) (3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板とする。 (4) 厨房用ダクトの板厚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">ダクトの場合</th> </tr> <tr> <th colspan="3">(単位mm)</th> </tr> <tr> <th>ダクトの長辺</th> <th>ステンレス鋼板</th> <th>亜鉛鉄板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450以下</td> <td>0.5以上</td> <td>0.6以上</td> </tr> <tr> <td>450を越え1,200以下</td> <td>0.6以上</td> <td>0.8以上</td> </tr> <tr> <td>1,200を越え1,800以下</td> <td>0.8以上</td> <td>1.0以上</td> </tr> <tr> <td>1,800を越えるもの</td> <td>0.8以上</td> <td>1.2以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>円形ダクトの場合 (単位mm)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">円形ダクトの寸法</th> </tr> <tr> <th>円形ダクトの寸法</th> <th>ステンレス鋼板</th> <th>亜鉛鉄板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300以下</td> <td>0.5以上</td> <td>0.6以上</td> </tr> <tr> <td>300を越え750以下</td> <td>0.5以上</td> <td>0.6以上</td> </tr> <tr> <td>750を越え1,000以下</td> <td>0.6以上</td> <td>0.8以上</td> </tr> <tr> <td>1,000を越え1,250以下</td> <td>0.8以上</td> <td>1.0以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>16. ダンパー (1) 防火ダンパーは表示等により区分する。 (2) 防煙ダンパー 復旧方式: 遠隔復帰式(定格入力はDC24V、0.7A以下とする。)</p>		外気条件		室内(調整目標値)		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏季	℃	%	28.0℃	50%	冬季	℃	%	19.0℃	40%	ダクトの場合			(単位mm)			ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板	450以下	0.5以上	0.6以上	450を越え1,200以下	0.6以上	0.8以上	1,200を越え1,800以下	0.8以上	1.0以上	1,800を越えるもの	0.8以上	1.2以上	円形ダクトの寸法			円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板	300以下	0.5以上	0.6以上	300を越え750以下	0.5以上	0.6以上	750を越え1,000以下	0.6以上	0.8以上	1,000を越え1,250以下	0.8以上	1.0以上
	外気条件			室内(調整目標値)																																																								
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																																																								
夏季	℃	%	28.0℃	50%																																																								
冬季	℃	%	19.0℃	40%																																																								
ダクトの場合																																																												
(単位mm)																																																												
ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板																																																										
450以下	0.5以上	0.6以上																																																										
450を越え1,200以下	0.6以上	0.8以上																																																										
1,200を越え1,800以下	0.8以上	1.0以上																																																										
1,800を越えるもの	0.8以上	1.2以上																																																										
円形ダクトの寸法																																																												
円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板																																																										
300以下	0.5以上	0.6以上																																																										
300を越え750以下	0.5以上	0.6以上																																																										
750を越え1,000以下	0.6以上	0.8以上																																																										
1,000を越え1,250以下	0.8以上	1.0以上																																																										
○	空気調和設備	<p>17. 風量測定口 18. チャンパー等</p> <p>19. 消音内貼り 20. グリス除去装置 21. 瞬間流量計及び流量測定口 22. 定流量変流量ユニット 23. 温度計 24. 圧力計 25. 冷温水管等の空気抜き 26. 鋼板製煙道 27. 防振吊り及び支持金物 28. オイルサービスタンク 29. 地下オイルタンク</p> <p>30. 液面制御装置 31. 油積算流量計 32. フィルターの予備品 33. 水質基準 34. 冷媒ガス 35. 直炎吸収冷温水機 36. 冷却塔 37. パッケージ空調機の能力表示 38. パッケージ空調機の内外渡配線</p> <p>1. 一般事項 2. ダクト 3. 排煙口 4. 排煙口開放及び復帰方式 5. 排煙風量測定</p> <p>1. 中央監視制御装置 2. 電源装置 3. 温度調節器等 4. 計装工事の記録</p>																																																										

○	空気調和設備	<p>取付け位置は図示による。 (1) 線状吹出口には、接続チャンパー(長さ+100×300×300H)を設ける。 (2) シーリングディフューザーの接続は標準図(施工47)による。 施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 (3) 外壁に面するガリリにチャンパー等を使用する場合には原則として勾配をつける。 (1) 空調用吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 (2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 (3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を設ける。 点検口の大きさは、原則として400×600とする。 ・ グリスエクストラクター・グリスマルター (1) 形式はビート管(コック付)とする。 ※ 固定式・着脱式 (2) 下記の箇所、若しくは図示により取付ける ・ 冷凍機類の冷水出口・瞬間流量計・測定用タッピング ・ 冷凍機類の冷却水出口・瞬間流量計・測定用タッピング ・ ボイラー又は熱交換器の温水出口・瞬間流量計・測定用タッピング ・ 冷水水ヘッダーの各送水管・瞬間流量計・測定用タッピング ・ ユニット形空調機と冷温水入口・瞬間流量計・測定用タッピング ・ メカニカル形・風速センサー形</p> <p>標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ ユニット形空調機廻りの電気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト ・ 機器附属品以外の温度計は ※ 工業用バイメタル式温度計・ガード付き形温度計</p> <p>標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 (1) 空気溜りを生ずると思われる箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置(※ 手動・自動)を設け排水口まで配管する。 (2) 自動空気抜き弁装置は、標準図(施工36(g))による (1) 厚さ ※ 3.2mm・5mm (2) 煤塵濃度計・取付ける・取付けない・取付座を取付ける (標準仕様書(80φ×2))を ※ 取付ける・取付けない 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管、及び空調室内ユニット等の吊り、及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 油面計はゲージ式(側圧式)とする。</p> <p>(1) 据付け方法(標準図)は ・ 地下オイルタンク据付け図(施工31) ※ 鋼製強化プラスチック製二重タンク据付け図(施工30) (2) 鋼板製タンクの保護被覆は ※ エポキシ樹脂 ⊗ 強化プラスチック (3) 遠隔流量指示装置(油面計は(・抵抗変換式・磁変式)で(・室内・室外)より流量監視用)を取付ける。 (4) 基礎杭は ※ 不要・要(但し杭は ※ 別途工事・本工事) (5) 土留め工事は ※ 不要・要(・本工事・別途工事)</p> <p>(1) 液面制御装置の機能は下記による。 ・ 給油ポンプの起動、停止・返油ポンプの起動、停止・ポンプ緊急停止警報 ・ 満油警報・減油警報・遠方警報接点(・満油・減油) (2) 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは、通過形接点とする。 ※ 設ける(図示した箇所に取付ける)・設けない 空気調和機器等又はフィルターチャンパーの装着枚数の100%を予備品(枠付)として納める。 ファンコイルユニットは総台数の約50%に当たるフィルターを予備品(枠付)として納める。 自動巻取り形及びグリスマルターは装着枚数の100%を予備品として納める。 空調用水の水質基準は、日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器水質ガイドライン)による。 ※ R407C、R410A又はR32 形式 煙管式又は液管式 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 製造業者の標準品とし、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む)</p> <p>空調、換気の当該事項を適用する。 ※ 高圧1ダクト・高圧2ダクト ※ 亜鉛鉄板製・鋼板製 ・ バネル形(・天井取付・壁取付) ・ スリット形(・天井取付・壁取付) ・ ダンパー形(・天井取付・壁取付) 電気式(遠隔操作 ※ 不要・要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる</p> <p>・ 有り(構成機能は図示による)・無し ・ 要(・本工事・別途工事)・不要 取付け高さは ※ 1300mm (1) 屋外、屋内露出の配線は、図示に特記がない限り金属管配管とする。 天井隠蔽の配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 (2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般事項17.電線類の規格による。 (機器、盤類はこれにょらなくともよい) 用途 : ①電源線、接地線 ②電気式の調節器(サーモ、ヒューミディ)用電線 ③各種検出器(温度、湿度等)、操作器(バルブ、ダンパー等)における弱電信号、通信線を除く制御線</p>
---	--------	---

A1版: 100%
A2版: 7.1%
A3版: 5.0%

株式会社 村田相互設計
 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES

一級建築士事務所
 広島県知事登録 19(1)第 1573号

一級建築士 第301045号
 大谷 健 剛
 承認

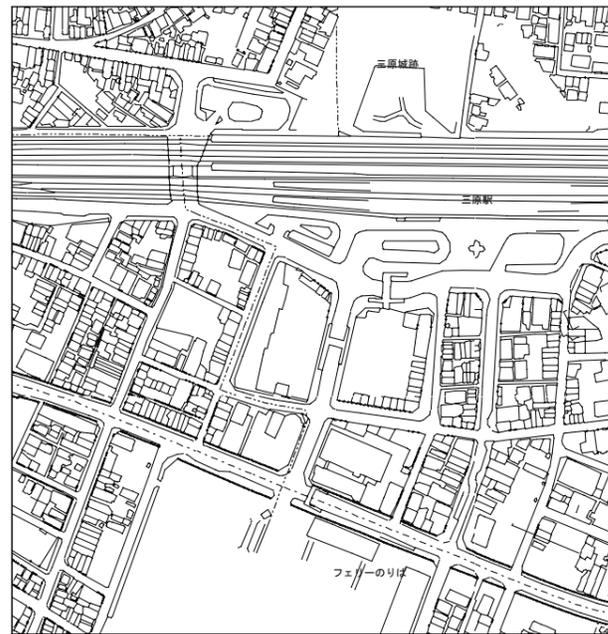
工事名
 ペアシティ三原西館再編改修工事(給排水衛生設備工事)

図面内容・縮尺 庁舎
 機械設備工事仕様書-2(衛生・空調換気)

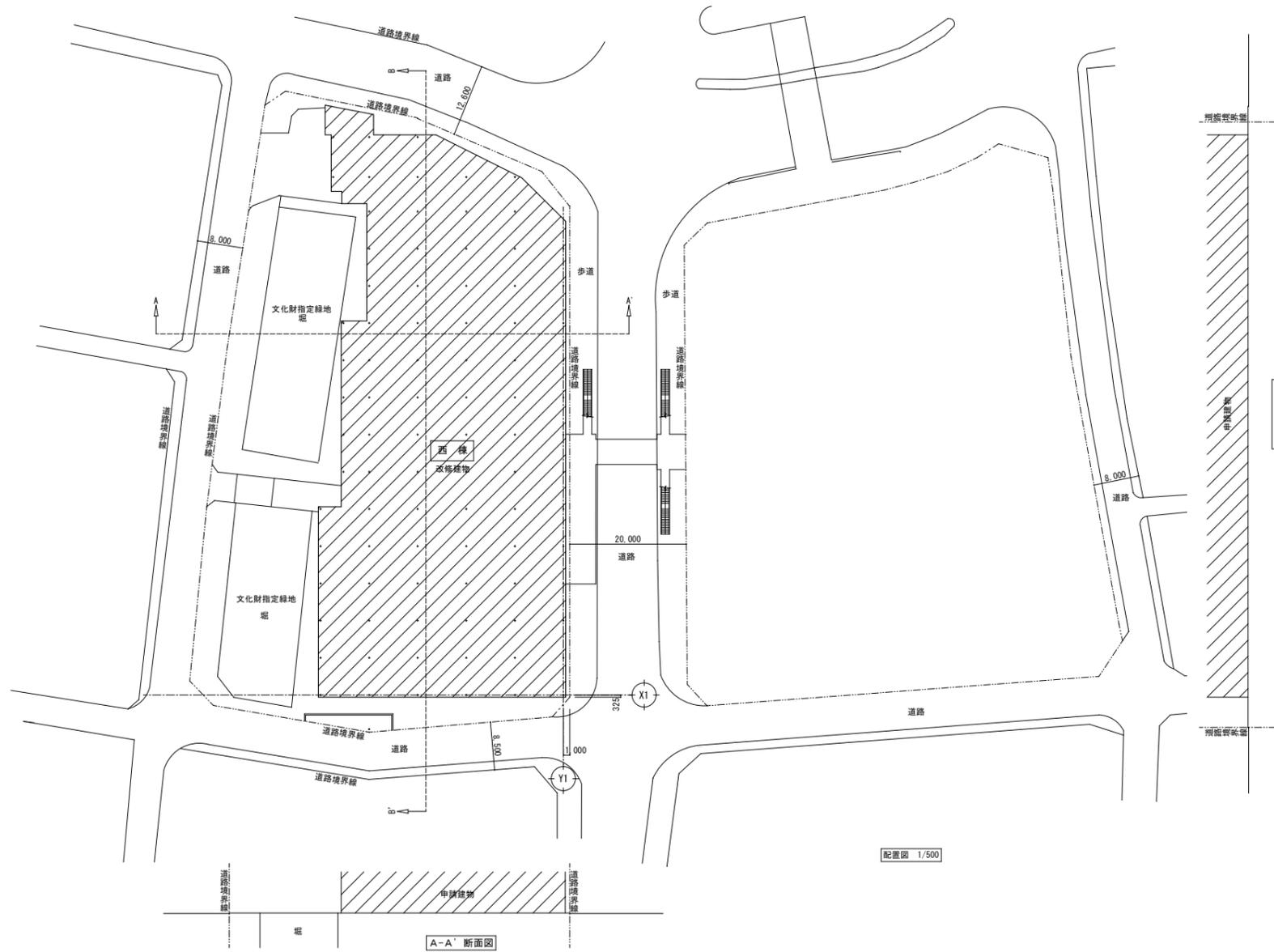
設計
 令和元年9月

図面番号
 M
 02

工事区分表																
工事区分	工事内容	建築	電気	空調	衛生	施主負担工事	備考	工事区分	工事内容	建築	電気	空調	衛生	施主負担工事	備考	
1. スリッパ、履物、補修	1) 基礎梁、梁、壁、床等の配管用貫通スリーブ	○	○	○	○		各工事ごと	8. 衛生器具、流し台	1) 洗面器、手洗器用鏡、棚				○			
	2) 同上貫通部分の鉄筋補強	○							2) 鏡	○ (張床)				○		
	3) 壁及びボックス類の仮枠		○	○	○		各工事ごと		3) 大小便器					○		
	4) 同上開口部分の鉄筋補強	○							4) 湯沸器 (リモコン、リモコンケール含)					○		
	5) 天井埋込照明器具類取付用切込及び補強	○ (開口補強)	○						5) 同上リモコンの取付及び配管配線		○					
	6) 吹出口、吸込口等取付用切込及び補強	○ (開口補強)		○					6) 便所内手摺	○						
	7) 1), 3) の移設補強		○	○	○		各工事ごと		7) 既製品流し台、ステンレス製流し台	○ (本体)				○ (水栓)		
	8) 5), 6) のスミ出し		○	○			各工事ごと		8) 全上排水トラップ	○						
	9) 天井取付用切込及び補強	○ (開口補強)		○					9) 洗面化粧台	○ (本体)	○ (給電)			○ (給水、排水接続)		
									10) 洗面化粧台カウンター					○ (本体・洗面器)		
2. ビット、シャフト、トレンチ点検口	1) 配管配線用のトレンチ及び蓋	○							11) 排水パイプ		○ (給電)			○ (本体・蓋台共)		
	2) P S	○							12) 洗濯機パン排水ホース等共	○ (本体)				○ (排水接続)		
	3) 機械室、便所等の配管配線用ビット	○														
	4) 床、壁、天井、シャフトビットの点検口	○														
3. 電気、電話、給水、ガス引込、下水本管接続	1) 電気引込工事及び負担金	○ (工事用) ○ (負担金)	○ (引込工事)					9. 冷暖房・換気設備	1) 天井扇・換気扇		○ (給電)	○ (本体・ダクト共)				
	2) 電話引込負担金 (工事用は除く)		○ (機器配線)			○ (住戸の機器別途)			2) レンジフード		○ (給電)	○ (本体・ダクト共)				
	3) 給水引込工事	○ (工事用)			○				3) ダクト接続ファン		○ (給電)	○ (本体・ダクト共)				
	4) 水道施設整備納付金						○ (別途)		4) 換気扇類スイッチ		○					
	5) ガス引込工事						○ (ガス会社負担工事)		5) 同上取付及び裏ボックス、配管配線		○					
	6) 工事中及び完成引渡までの電気料金 (基本料金含む)	○	○						6) エアコンのリモコン及びリモコン線				○			
	7) 消火ドラッグ 操作盤		○ (給電)		○				7) 同上取付及び裏ボックス、配管							
4. 構造物	1) 消防用水槽 (コック付)	○							8) 全熱交換機のコントロールスイッチ				○			
									9) 同上コントロールスイッチ取付及び裏ボックス、配管配線		○ (配管、裏付)		○ (取付、配線)			
5. コンクリート基礎	1) 屋内消火栓用屋上タンク水槽	○			○ (架台のみ)			10. ガラリ	1) 換気ガラリ	○						
	2) 機械基礎	○							2) 換気扇用ガラリ (ペントキャップ)				○			
	3) ポンプ類	○							3) ドア取付又はこれに準ずるもの	○						
	4) 空調室外機	○		○ (架台のみ)				11. エレベーター	エレベーター	○	○	○			エレベーター工事	
	5) キュービクル 基礎															
	6) テレビアンテナ	○	○ (架台)													
	7) 機器類のアンカー打込		○	○	○		各工事ごと	12. その他	1) 消火器 (建物にかかもの)	○						
	8) その他の水槽類	○							2) 消火器 (設備にかかもの)	○						
							3) 吊戸棚下に湯沸器、コンロ台を設置する場合 の不燃材の取付 (建築工事で吊戸棚を取付けた場合)		○							
							4) ガス漏れ警報機			○ (給電)			○ (本体)			
							5) 設備配管用天井及び床仕上げ材の穴明			○			○			
6. 電線類、電磁弁	1) 消防用水槽 (電線類)		○					6) ユニタリバス・シャワー	○ (本体)	○ (給電)						
	2) 消火用補充水槽 (電線類)		○					7) ユニタリバス・シャワー・天井扇		○ (給電)			○			
	3) 消火ポンプ用排水槽 (電線類)				○	消火ドラッグ内		8) ユニタリバス・シャワー・給排水管接続					○			
7. 排水設備	1) 屋内屋外雨水排水工事 (各ドレン、壁樋共)	○ (図示した部・側溝含む)						9) カーテン	○							
	2) 屋内屋外排水設備工事 (雑排水、汚水)				○			10) 遊樂器具	○							
	3) ゴキブリトラップ				○			11) 配管等の支持金物及び振れ止め		○		○	○	各工事ごと		
	4) マット排水及び排水金物				○			12) 太陽光パネル		○						



付近見取図



配置図 1/500

A-A' 断面図

A1版: 100%
A2版: 71%
A3版: 50%

 株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES

一級建築士事務所
広島県知事登録 19(1)第 1573号

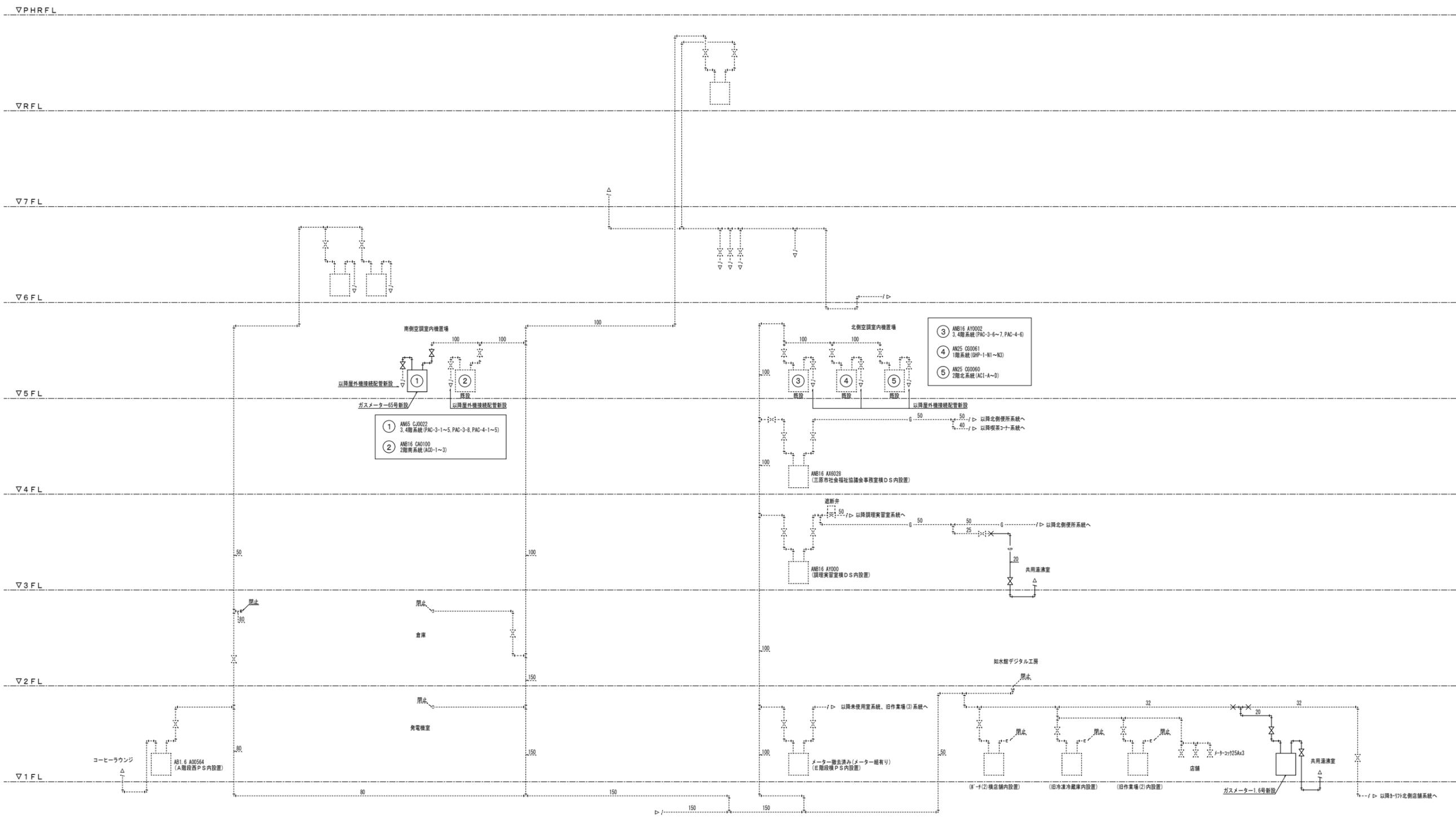
一級建築士 第301045号
大谷 健 剛
承認

工事名
ペアシティ三原西館再編改修工事 (給排水衛生設備工事)

図面内容・縮尺 庁舎
付近見取図・配置図

設計
令和元年9月

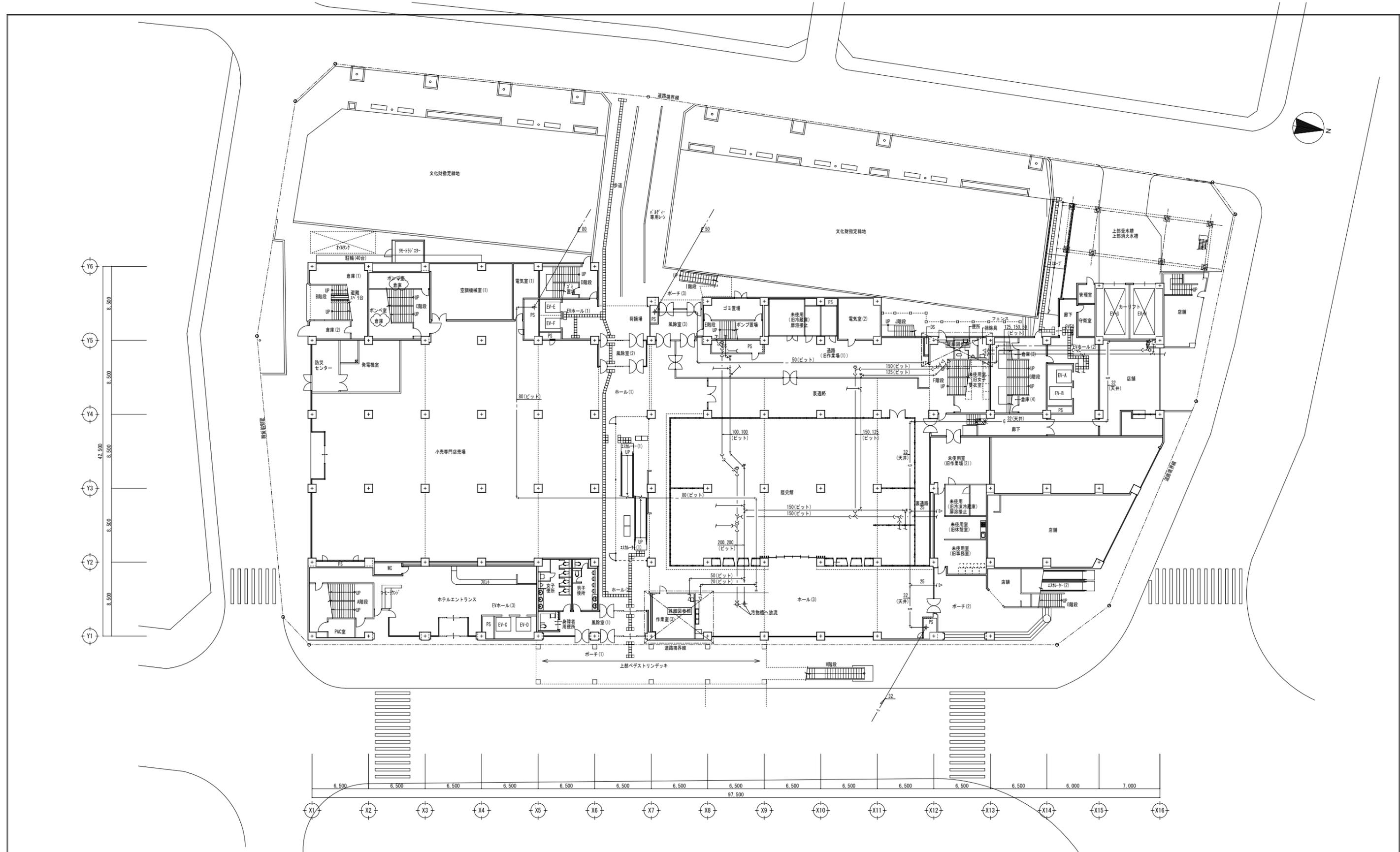
図面番号
M
04



- ③ ANB16 AY0002
3.4階系統 (PAC-3-6~7, PAC-4-6)
- ④ ANZ5 CS0061
1階系統 (GHP-1-N1~N3)
- ⑤ ANZ5 CS0060
2階北系統 (AC1-A~D)

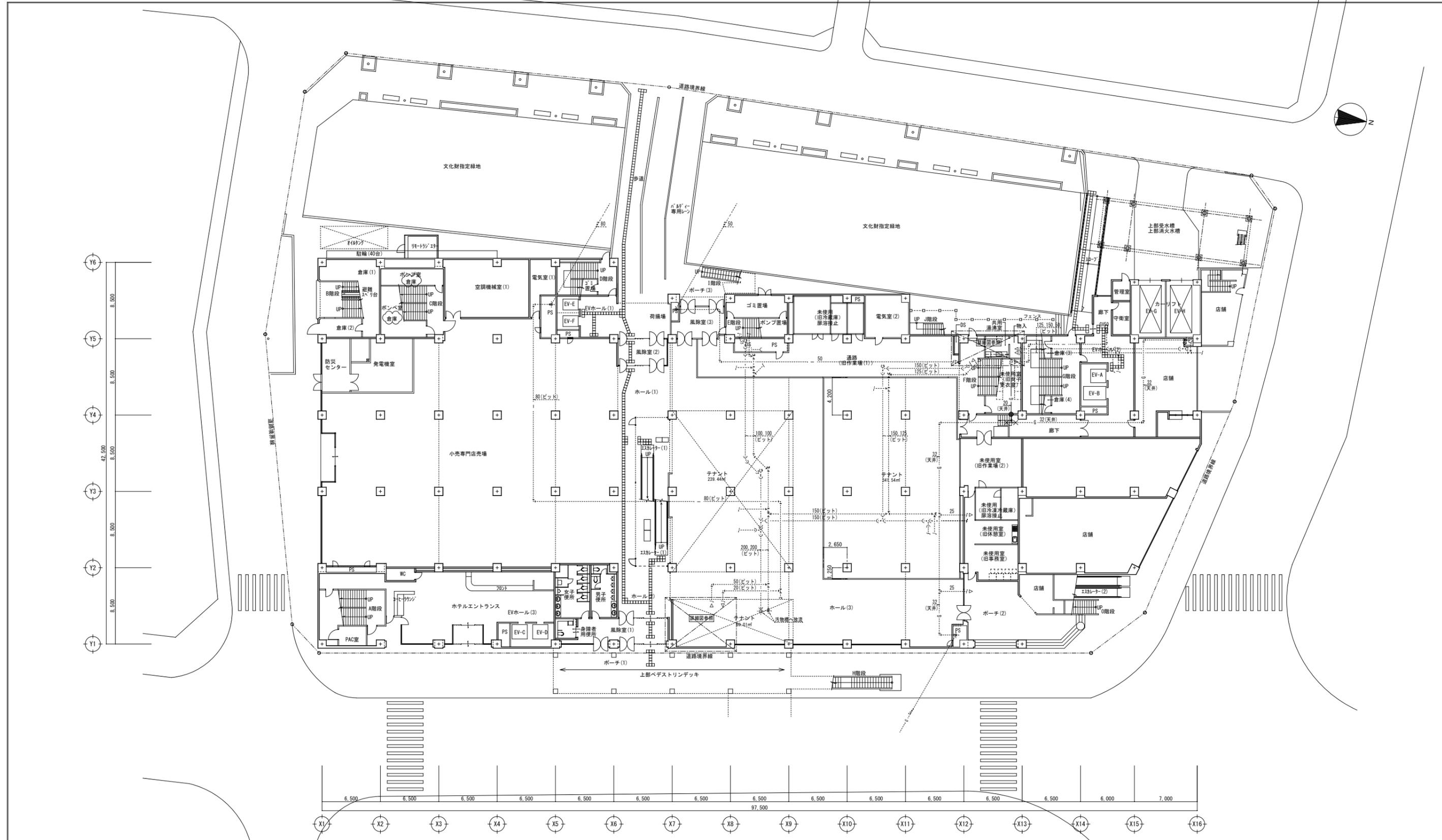
- ① AN5 C40022
3.4階系統 (PAC-3-1~5, PAC-3-8, PAC-4-1~5)
- ② ANB16 CA0100
2階南系統 (AO2-1~3)

- 凡例・特記事項
1. 破線表記は既設を示す。
 2. ...×... : 既設配管接続箇所を示す。
 3. ...+×... : 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 4. ||... : 既設配管閉塞箇所を示す。

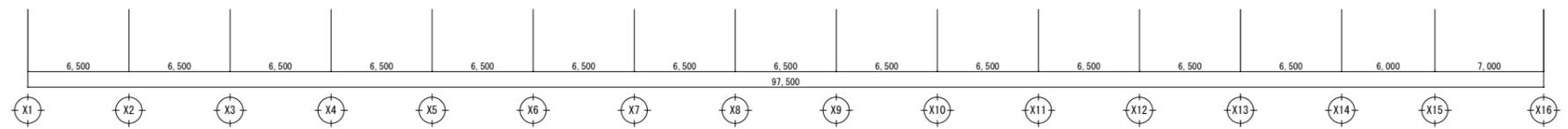
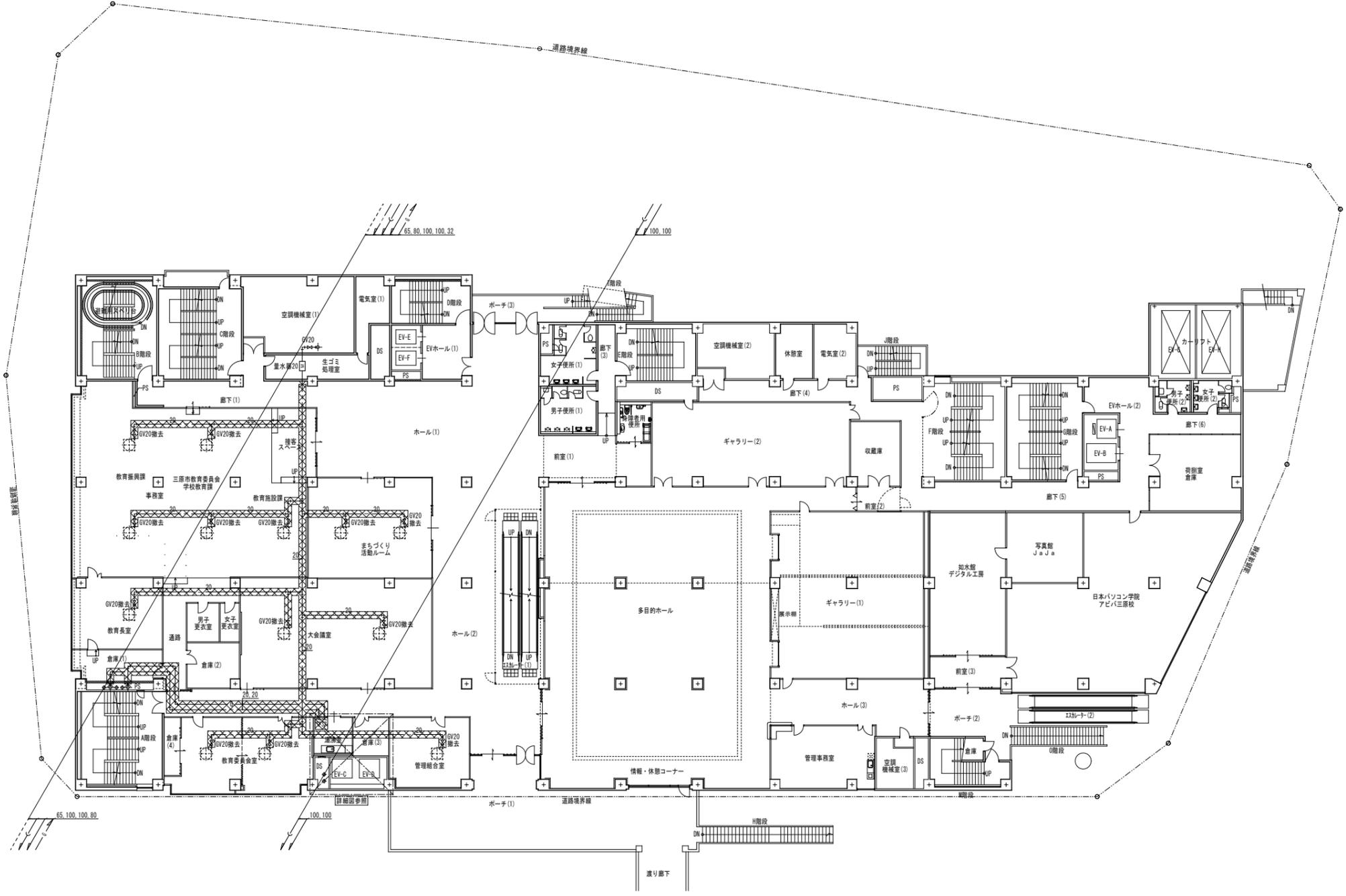
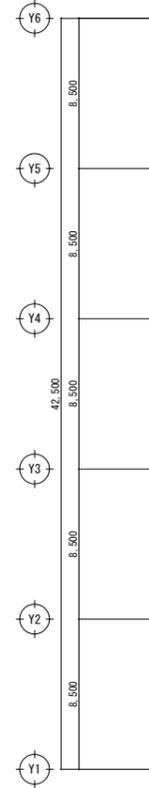


- 凡例・特記事項
1. : 撤去範囲を示す。
 2. : 既設配管切断箇所を示す。
 3. 配管撤去後の穴埋め(真埋め)は本工事とする。

A1版 : 100% A2版 : 7.1% A3版 : 5.0%	 株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES	一級建築士事務所 大谷 健 創 広島県知事登録 19(1)第 1573号	一級建築士 第301045号 大谷 健 創 承認	工事名 パシィティ三原西館再編改修工事 (給排水衛生設備工事)	図面内容・縮尺 庁舎 1階衛生平面図 (改修前)	設計 令和元年9月 図面番号 M 06
--	---	--	--------------------------------	---	------------------------------------	--

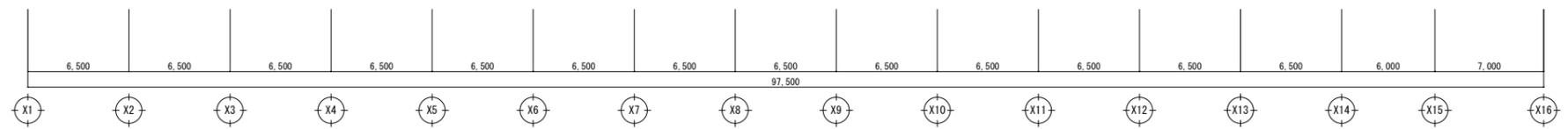
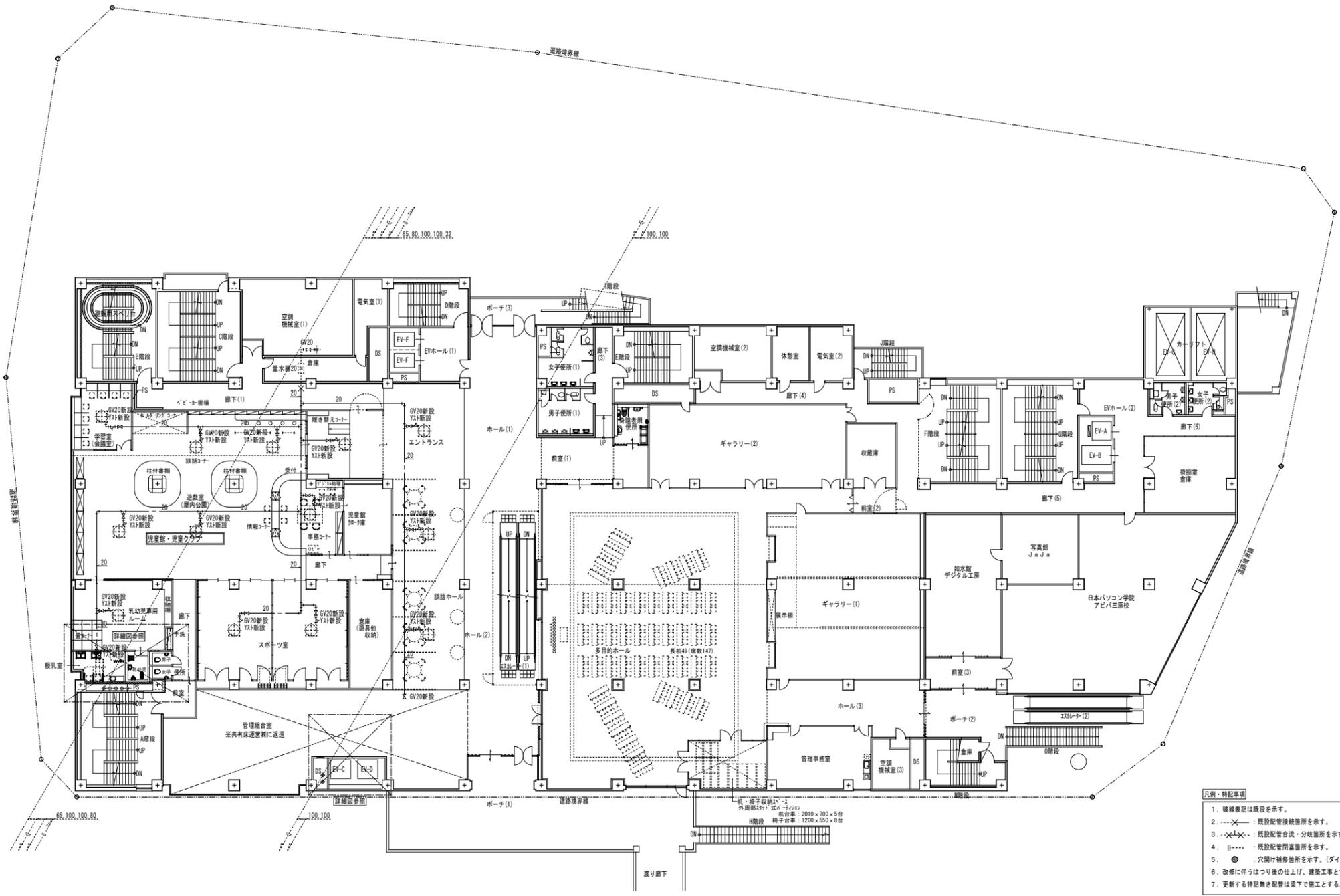
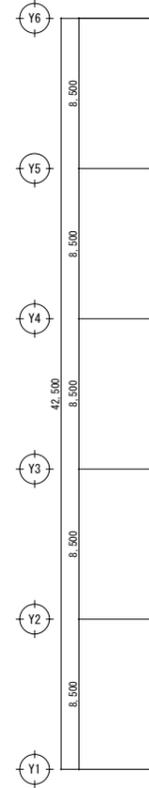


- 凡例・特記事項
1. 破線表記は既設を示す。
 2. ---x--- : 既設配管接続箇所を示す。
 3. -x-x- : 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 4. ||--- : 既設配管閉塞箇所を示す。
 5. ● : 穴開け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 6. 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 7. 更新する特記無き配管は皮下で施工とする。



- 凡例・特記事項
1. : 撤去範囲を示す。
 2. : 既設配管切断箇所を示す。
 3. 配管撤去後の穴埋め(真埋め)は本工事とする。

A1版: 100% A2版: 71% A3版: 50%	株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES	一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第 1573号	一級建築士 第301045号 大谷 健 剛 承認	工事名 ペアシティ三原西館再編改修工事(給排水衛生設備工事)	図面内容・縮尺 庁舎 2階衛生平面図(改修前)	設計 令和元年9月 図面番号 M 08
-----------------------------------	---	----------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	----------------------------	---------------------------------



- 凡例・特記事項
1. 破線表記は既設を示す。
 2. ---<--- : 既設配管接続箇所を示す。
 3. ---<---<--- : 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 4. ||--- : 既設配管差箇所を示す。
 5. ● : 穴明け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 6. 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 7. 更新する特記書き配管は梁下で施工とする。

A1版: 100%
A2版: 7.1%
A3版: 5.0%



一級建築士事務所
株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES

一級建築士 第301045号
大谷 健 剛
承認

工事名
ペアシティ三原西館再編改修工事 (給排水衛生設備工事)

図面内容・縮尺 庁舎
2階衛生平面図 (改修後)

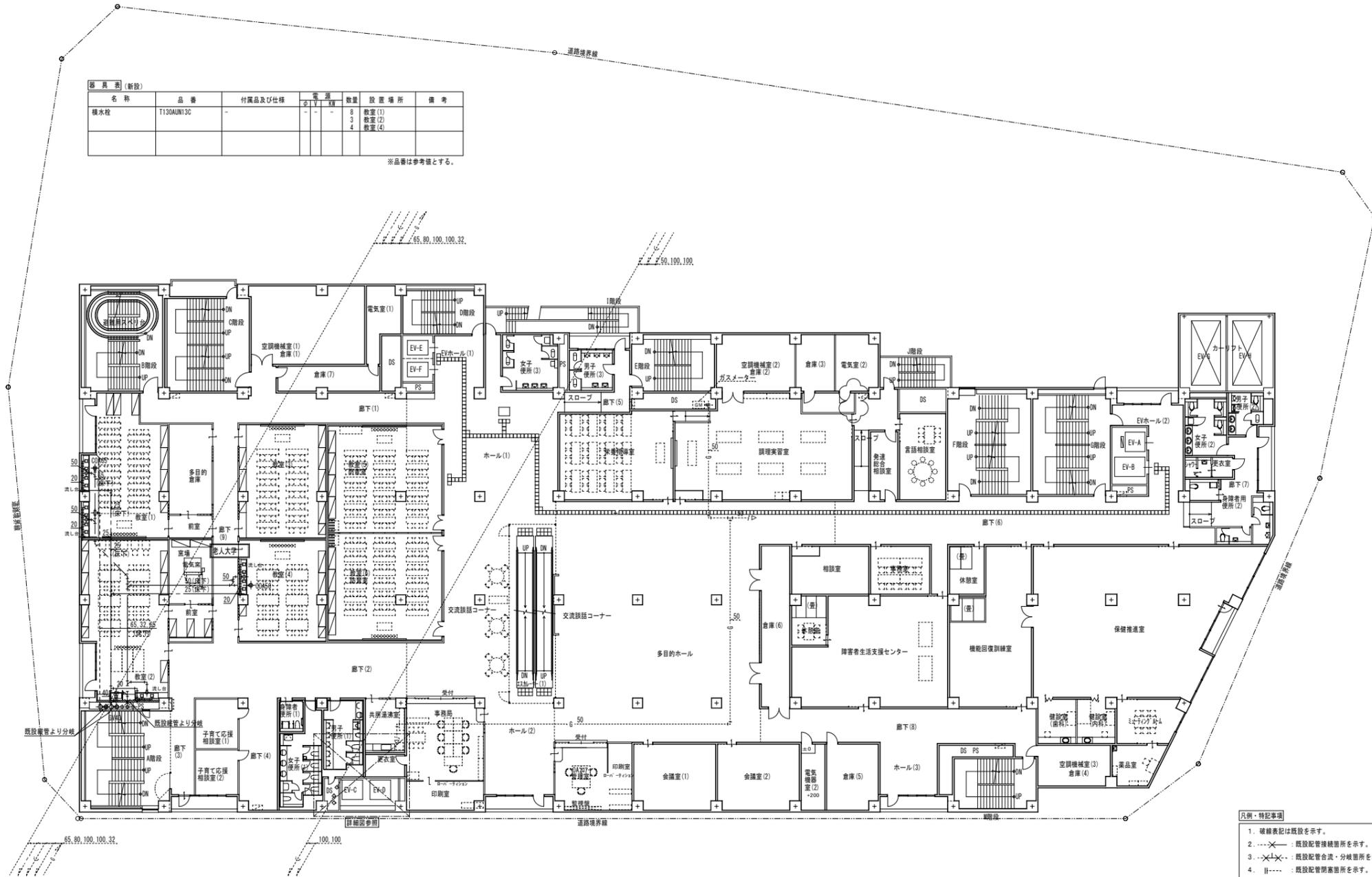
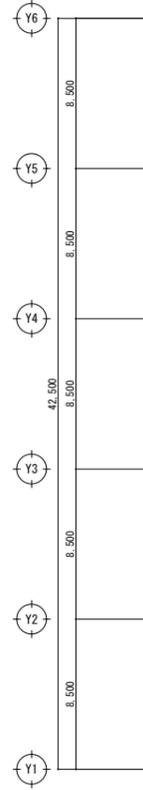
設計
令和元年9月

図面番号
M
09

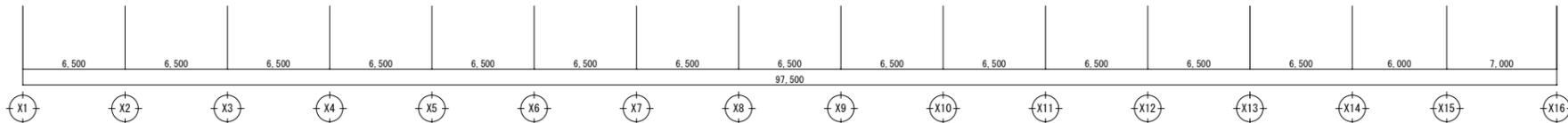


器具表 (新設)						
名称	品番	付属品及び仕様	電圧	数量	設置場所	備考
横水栓	T130AUNI3C	-	-	8 3 4	教室(1) 教室(2) 教室(4)	

※品番は参考値とする。



- 凡例・特記事項
1. 破線表記は既設を示す。
 2. ---<--- : 既設配管接続箇所を示す。
 3. ---<---<--- : 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 4. ||--- : 既設配管閉塞箇所を示す。
 5. ● : 穴明け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 6. 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 7. 更新する特記書き配管は梁下で施工とする。



A1版: 100%
A2版: 71%
A3版: 50%



一級建築士事務所
広島県知事登録 19(1)第 1573号

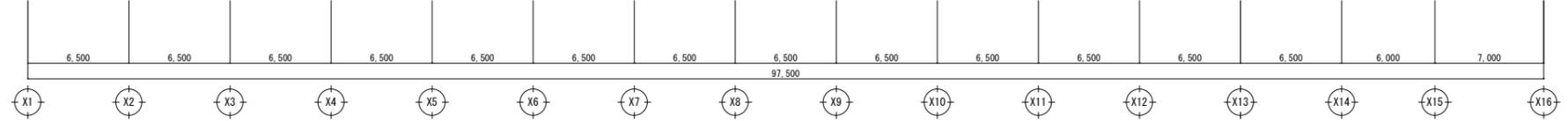
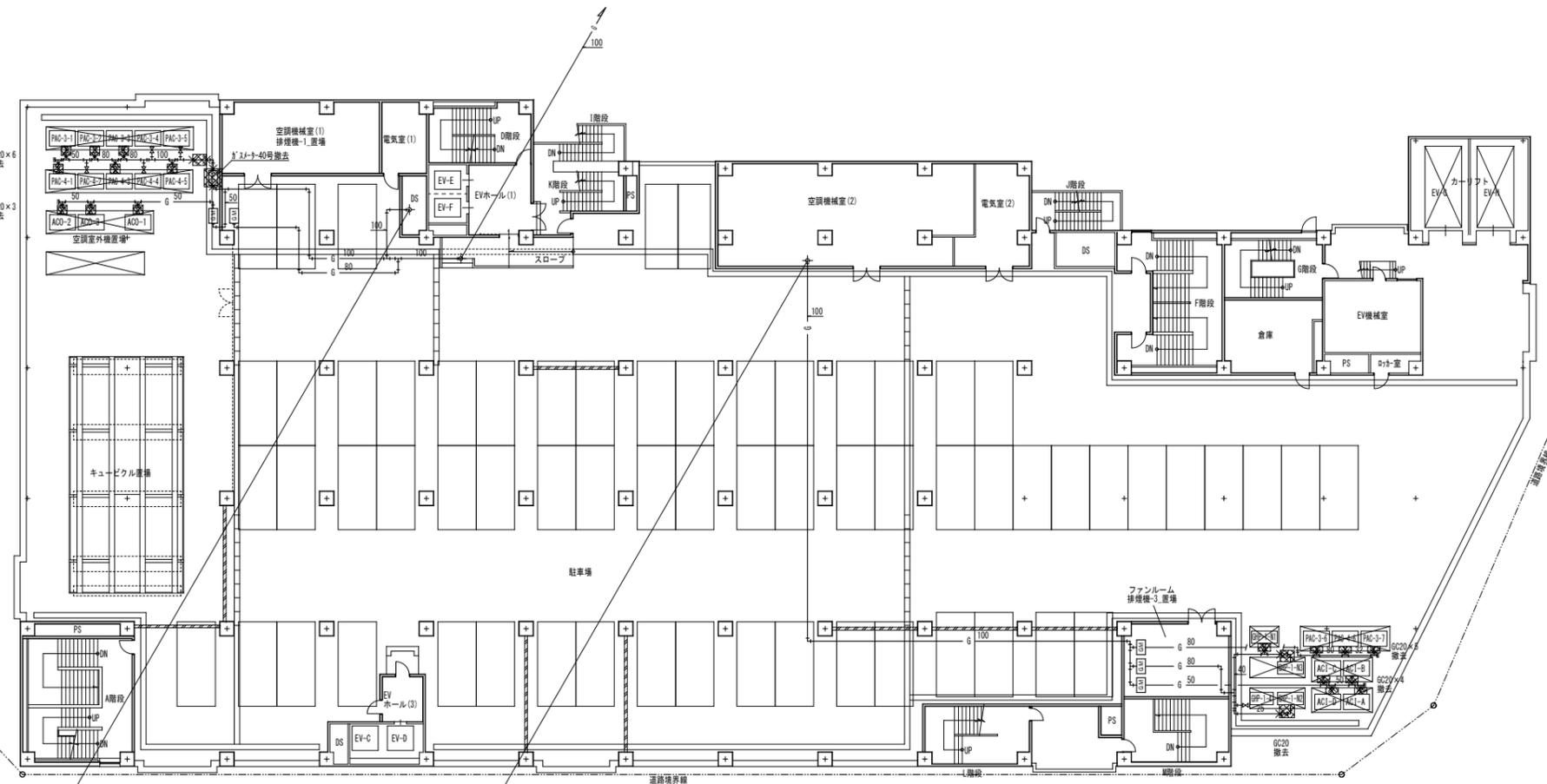
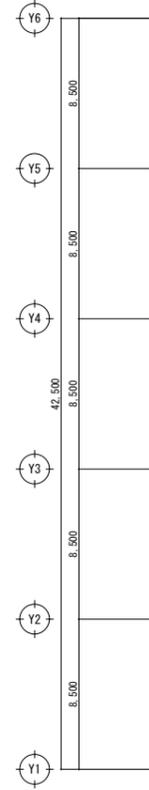
一級建築士 第301045号
大谷 健 剛
承認

工事名
ペアシティ三原西館再編改修工事 (給排水衛生設備工事)

図面内容・縮尺 庁舎
3階衛生平面図 (改修後)

設計
令和元年9月

図面番号
M
11



- 凡例・特記事項
1. : 撤去範囲を示す。
 2. : 既設配管切断箇所を示す。
 3. 配管撤去後の穴埋め(真埋め)は本工事とする。

A1版 : 100%
A2版 : 71%
A3版 : 50%

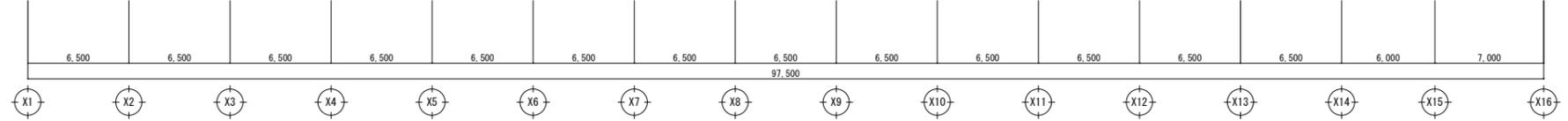
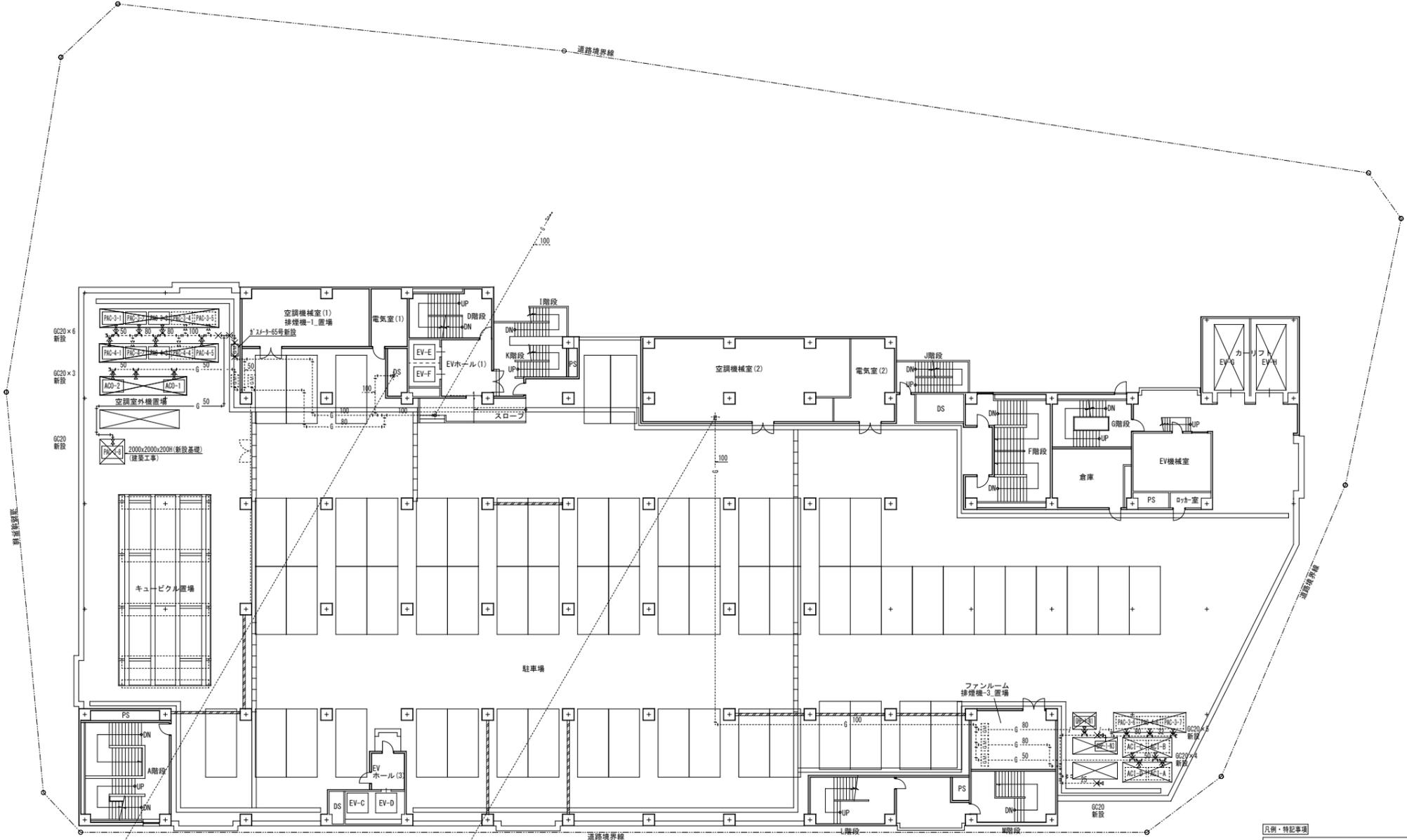
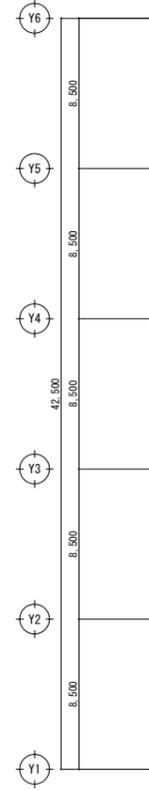
株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES

一級建築士事務所
大谷 健 剛
広島県知事登録 19(1)第 1573号
承認

工事名
ペアシティ三原西館再編改修工事 (給排水衛生設備工事)

図面内容・縮尺 庁舎
5階衛生平面図 (改修前)
1/200

設計
令和元年9月
図面番号
M
12



- 凡例・特記事項
1. 破線表記は既設を示す。
 2. ---<--- : 既設配管接続箇所を示す。
 3. ->X<- : 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 4. ||--- : 既設配管閉塞箇所を示す。
 5. ● : 穴明け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 6. 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 7. 更新する特記書き配管は梁下で施工とする。

A1版 : 100%
A2版 : 71%
A3版 : 50%



株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES

一級建築士事務所
広島県知事登録 19(1)第 1573号

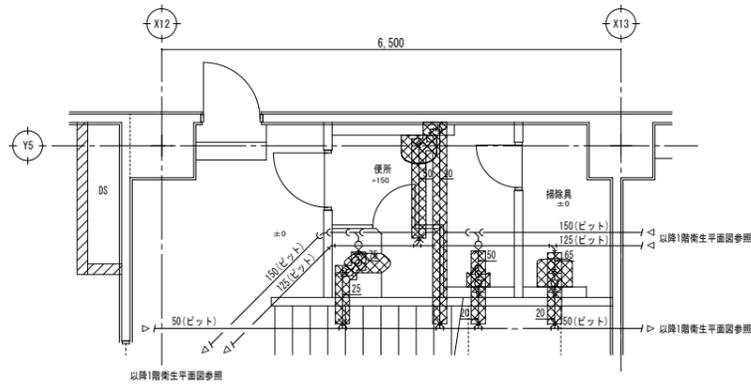
一級建築士 第301045号
大谷 健 剛
承認

工事名
ペアシティ三原西館再編改修工事 (給排水衛生設備工事)

図面内容・縮尺 庁舎
5階衛生平面図 (改修後)

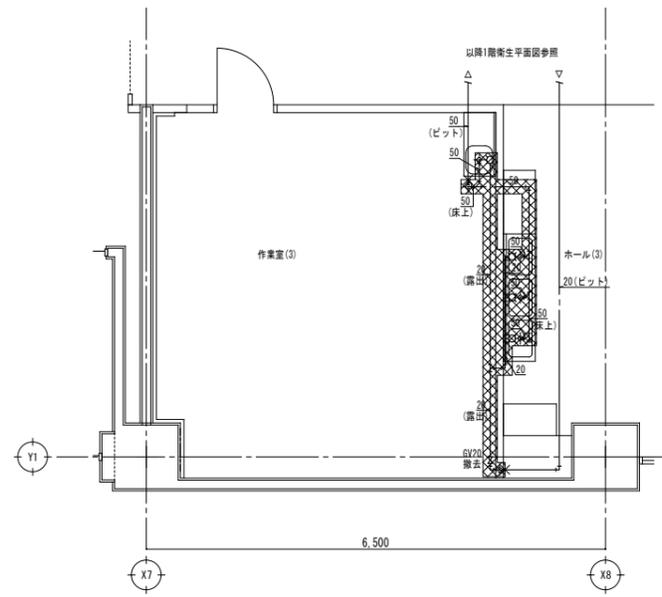
設計
令和元年9月

図面番号
M
13



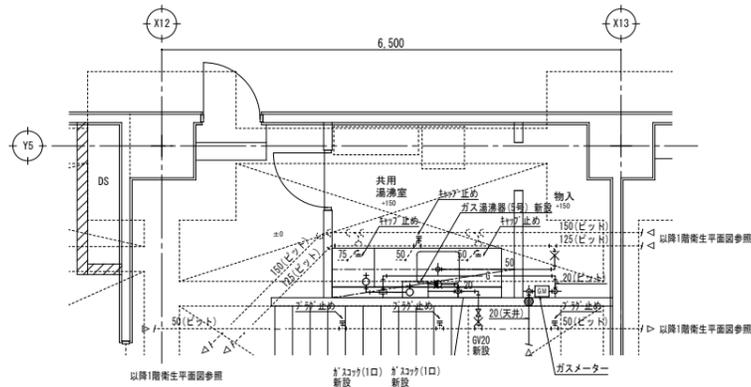
器具表 (撤去)							
名称	品番	付属品及び仕様	電圧	数量	設置場所	備考	
和風大便器	C-754B	手動FV	-	1	便所		
紙巻器	-	-	-	1	便所		
小便器	U-112	-	-	1	便所		
洗面器	L-1326	-	-	1	便所		
化粧鏡	-	-	-	1	便所		
掃除用流し	-	-	-	1	掃除具		

- 凡例・特記事項
- 撤去範囲を示す。
 - 既設配管接続箇所を示す。
 - 配管撤去後の穴埋め(見埋め)は本工事とする。



器具表 (撤去)							
名称	品番	付属品及び仕様	電圧	数量	設置場所	備考	
一槽水切りシンク流し台	-	W900×D450×H800	-	1	作業室(3)		
三槽水切りシンク流し台	-	W1800×D450×H800	-	1	ホール(3)		
自在水栓	-	-	-	3	作業室(3) ホール(3)		

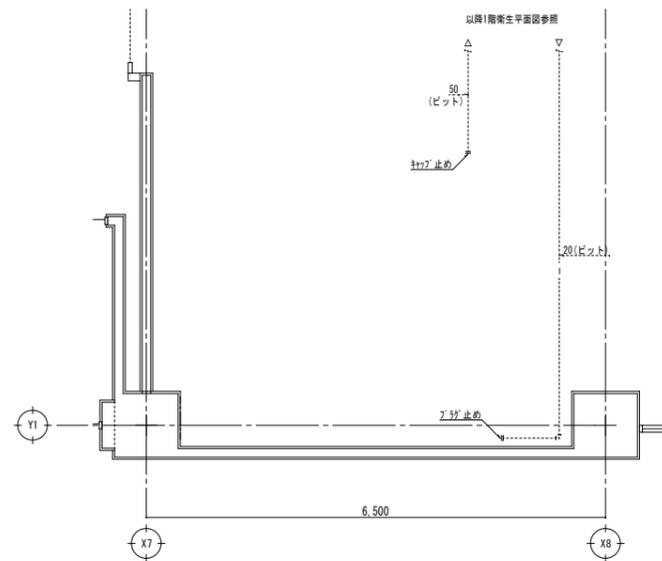
- 凡例・特記事項
- 撤去範囲を示す。
 - 既設配管接続箇所を示す。
 - 配管撤去後の穴埋め(見埋め)は本工事とする。



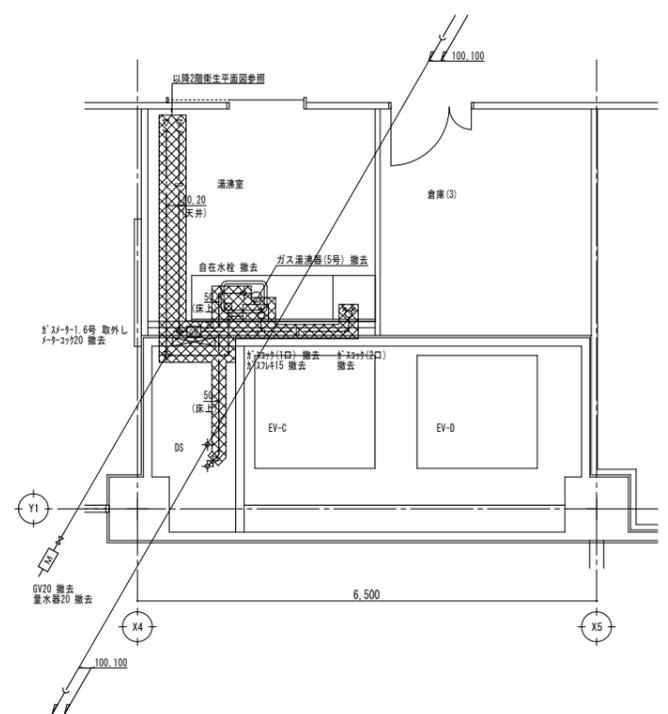
器具表 (新設)							
名称	品番	付属品及び仕様	電圧	数量	設置場所	備考	
ガス湯沸器	-	5号先止め	-	1	共用湯沸室		
シンク 440mm-混合水栓	TK6031EC	-	-	1	共用湯沸室		

※品番及び消費電力は参考値とする。

- 凡例・特記事項
- 破線表記は既設を示す。
 - X---: 既設配管接続箇所を示す。
 - X---: 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 - ||---: 既設配管高箇所を示す。
 - : 穴開け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 - 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 - 更新する特記書き配管は梁下で施工とする。



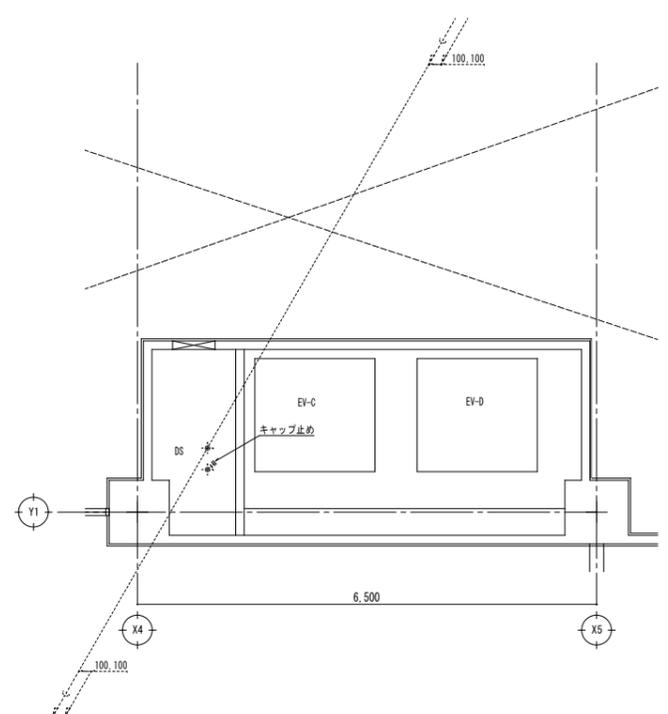
- 凡例・特記事項
- 破線表記は既設を示す。
 - X---: 既設配管接続箇所を示す。
 - X---: 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 - ||---: 既設配管高箇所を示す。
 - : 穴開け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 - 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 - 更新する特記書き配管は梁下で施工とする。



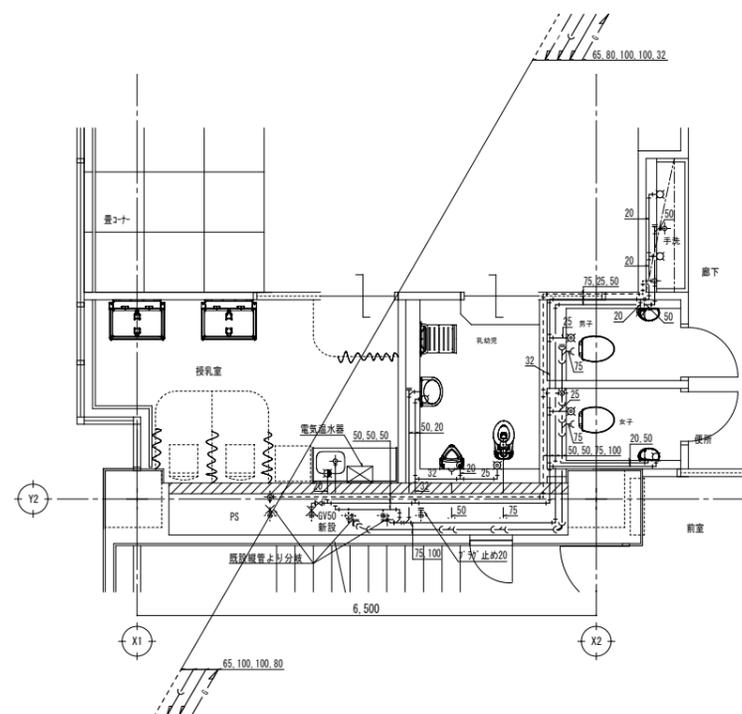
器具表 (撤去)

名称	品番	付属品及び仕様	電圧	消費電力	数量	設置場所	備考
ガス湯沸器	RUS-51MT	5号元止め	-	-	1	湯沸室	
自在水栓	-	-	-	-	1	湯沸室	

- 凡例・特記事項
- 撤去範囲を示す。
 - 既設配管切断箇所を示す。
 - 配管撤去後の穴埋め(埋埋め)は本工事とする。



- 凡例・特記事項
- 破線表記は既設を示す。
 - 既設配管接続箇所を示す。
 - 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 - 既設配管閉塞箇所を示す。
 - 穴開け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 - 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 - 更新する特記無き配管は梁下で施工とする。

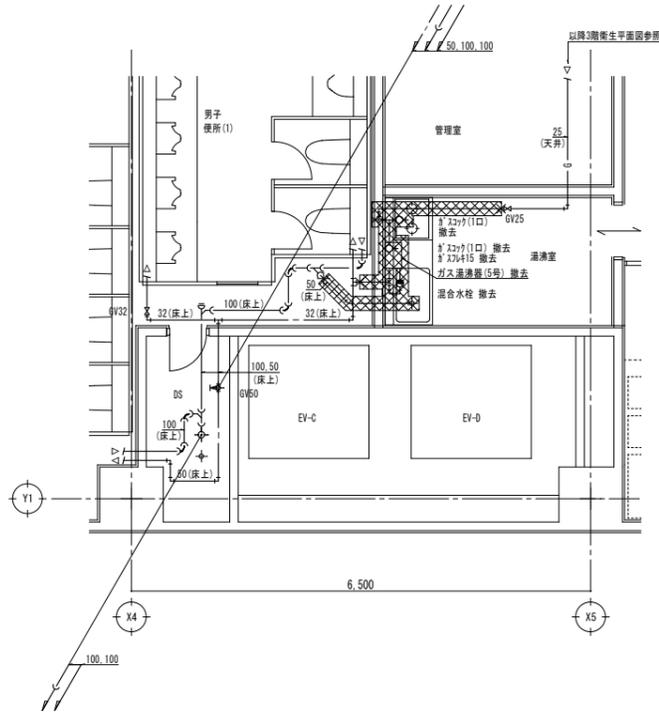


器具表 (新設)

名称	品番	付属品及び仕様	電圧	消費電力	数量	設置場所	備考
洋風大便器	CFS494MNRNA	(自動FV)	110V	1.263	1	女子便所 男子便所	
洗浄便座	TGF5820ADPR	乾電池付付	110V	1.263	1	女子便所 男子便所	
紙巻機	YH702	(二連)	-	-	1	女子便所 男子便所	
タッチ一体型手洗器	L450D	TENA41A(自動水栓)	110V	0.005	1	女子便所 男子便所	
化粧鏡	YH6090F	-	-	-	1	女子便所	
洋風大便器(幼児用)	CS310B	TEFV110UH(自動FV) TG41R(暖房便座)	110V	0.032	1	乳幼児便所	
小便器(幼児用)	U3106Y	TEA62ADR	-	-	1	乳幼児便所	
洗面器	L710C	TENA41A(自動水栓)	110V	0.005	1	乳幼児便所	
ペーパーシート	YKA24R	-	-	-	1	乳幼児便所	
電気温水器	REWF03B11	-	110V	0.6	1	授乳室	
シンクMIX-混合水栓	TAG631EC	-	-	-	1	授乳室	
横水栓	T130AUN13C	-	-	-	2	廊下	

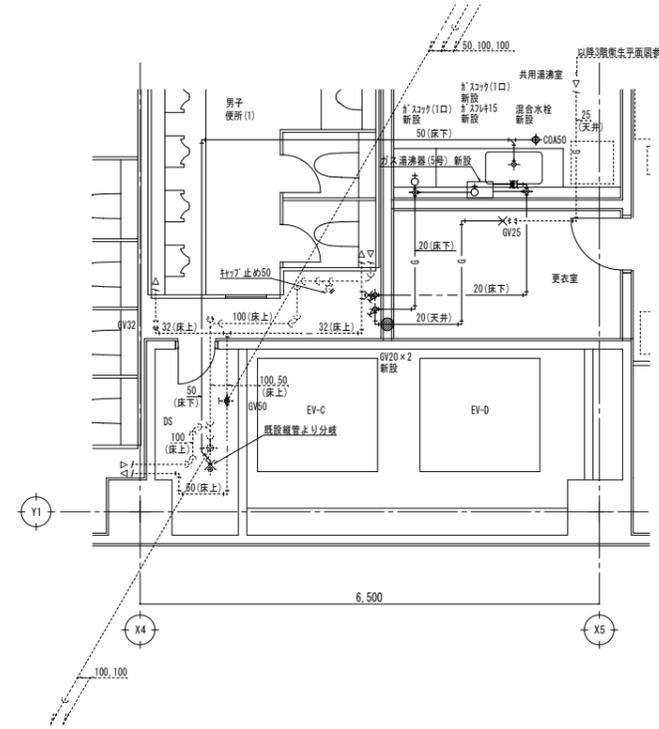
※品番及び消費電力は参考値とする。
※左記衛生配管は全て、床下配管とする。

- 凡例・特記事項
- 破線表記は既設を示す。
 - 既設配管接続箇所を示す。
 - 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 - 既設配管閉塞箇所を示す。
 - 穴開け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 - 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 - 更新する特記無き配管は梁下で施工とする。



名称	品番	付属品及び仕様	電圧	数量	設置場所	備考
ガス湯沸器	RUS-53ET	5号先止め	-	1	湯沸室	
混合水栓	TKD3EX	-	-	1	湯沸室	

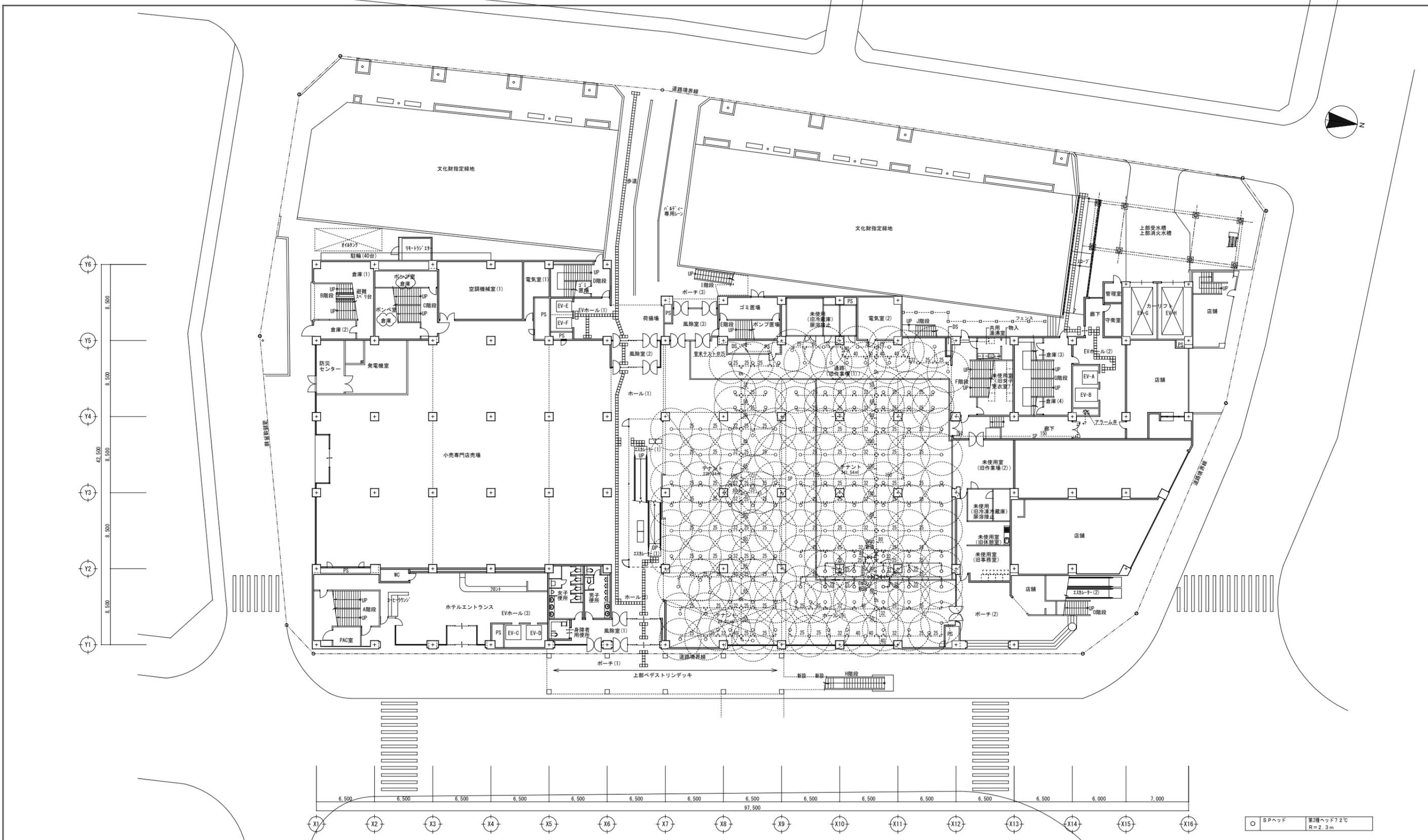
- 凡例・特記事項
- 撤去範囲を示す。
 - 既設配管切断箇所を示す。
 - 配管除去後の穴埋め(処理)は本工事とする。



名称	品番	付属品及び仕様	電圧	数量	設置場所	備考
ガス湯沸器	-	5号先止め	-	1	共用湯沸室	
シャワー混合水栓	TKD631EC	-	-	1	共用湯沸室	

※品番は参考値とする。

- 凡例・特記事項
- 破線表記は既設を示す。
 - 既設配管接続箇所を示す。
 - 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 - 既設配管閉塞箇所を示す。
 - 穴開け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 - 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 - 更新する特記無き配管は床下で施工とする。



○ SPヘッド 第2種ヘッド72℃ R=2.3m

- 凡例・特記事項
1. 破線表記は既設を示す。
 2. ---×--- 既設配管接続箇所を示す。
 3. -×+×- 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 4. |---| 既設配管閉塞箇所を示す。
 5. ● : 穴開け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 6. 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 7. 更新する特記無き配管は皮下で施工とする。

A1版 : 100%
A2版 : 7.1%
A3版 : 5.0%

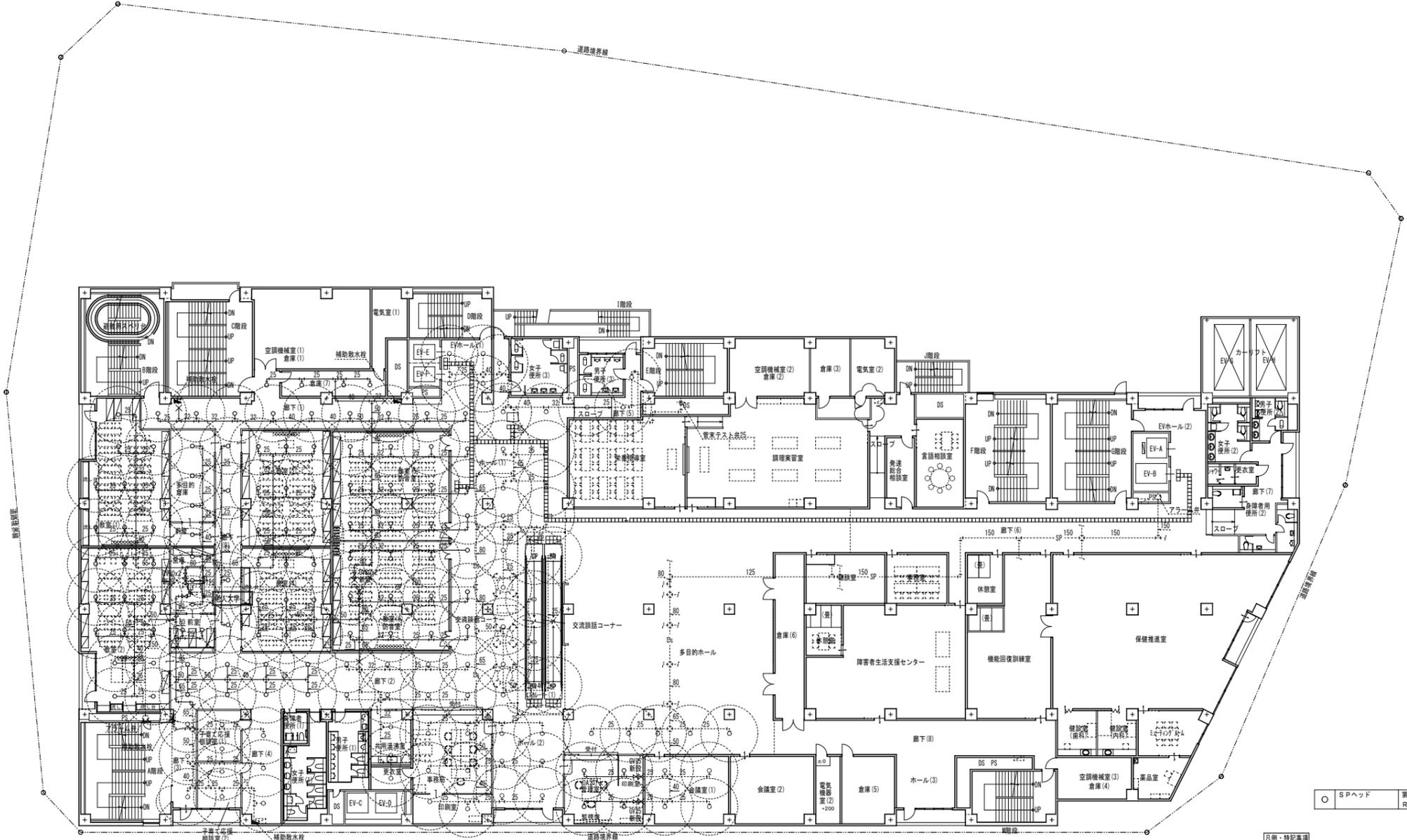
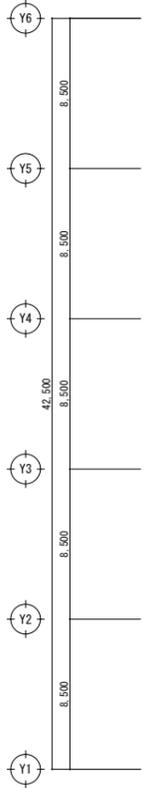
株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES

一級建築士事務所
大谷 健 創
承認

工事名
ペアシティ三原西館再編改修工事 (給排水衛生設備工事)

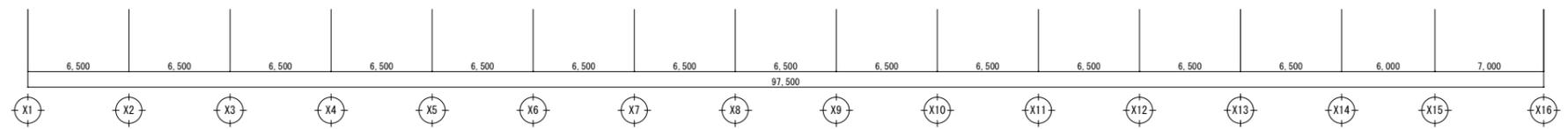
図面内容・縮尺 庁舎
1階消火平面図 (改修後)

設計
令和元年9月
図面番号
M
18

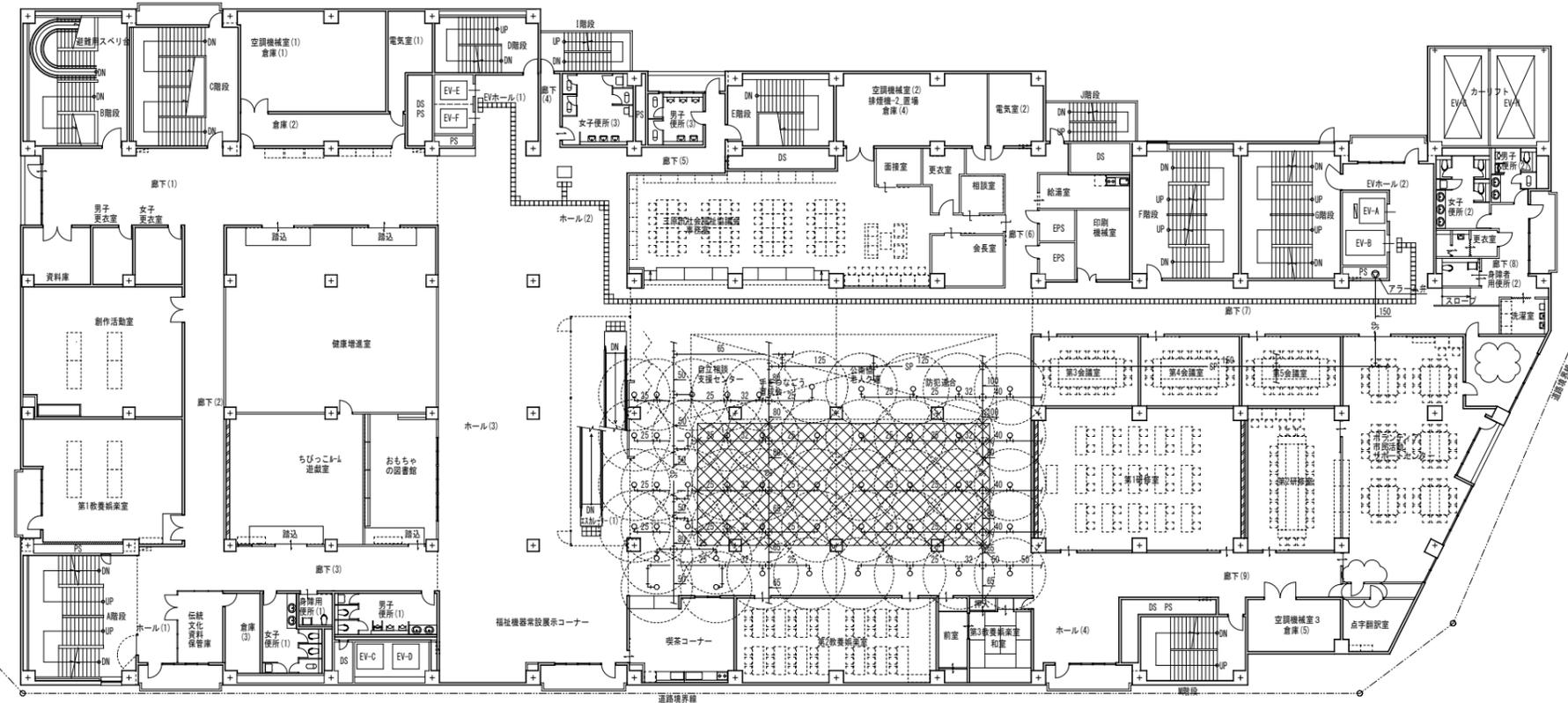
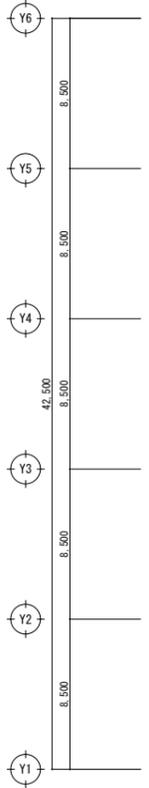


○ SPヘッド 第2種ヘッド72℃ R=2.3m

- 【凡例・特記事項】
1. 破線表記は既設を示す。
 2. ---×--- : 既設配管接続箇所を示す。
 3. -×-×- : 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 4. ||--- : 既設配管閉塞箇所を示す。
 5. ● : 穴明け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 6. 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 7. 更新する特記無き配管は地下で施工とする。

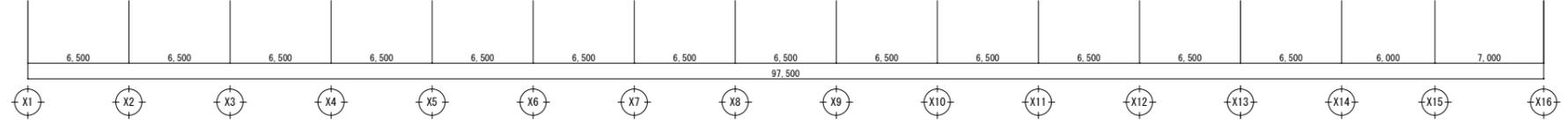


A1版 : 100% A2版 : 71% A3版 : 50%	 株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES	一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第 1573号	一級建築士 第301045号 大谷 健 剛 承認	工事名 ペアシティ三原西館再編改修工事 (給排水衛生設備工事)	図面内容・縮尺 庁舎 3階消火平面図 (改修後)	設計 令和元年9月	図面番号 M 22
--------------------------------------	---	----------------------------------	--------------------------------	---	------------------------------------	--------------	------------------------



○ SPヘッド 第2種ヘッド72℃ R=2.3m

- 凡例・特記事項
1. : 撤去範囲を示す。
 2. : 既設配管切断箇所を示す。
 3. 配管撤去後の穴埋め(処理)は本工事とする。



A1版: 100%
A2版: 71%
A3版: 50%

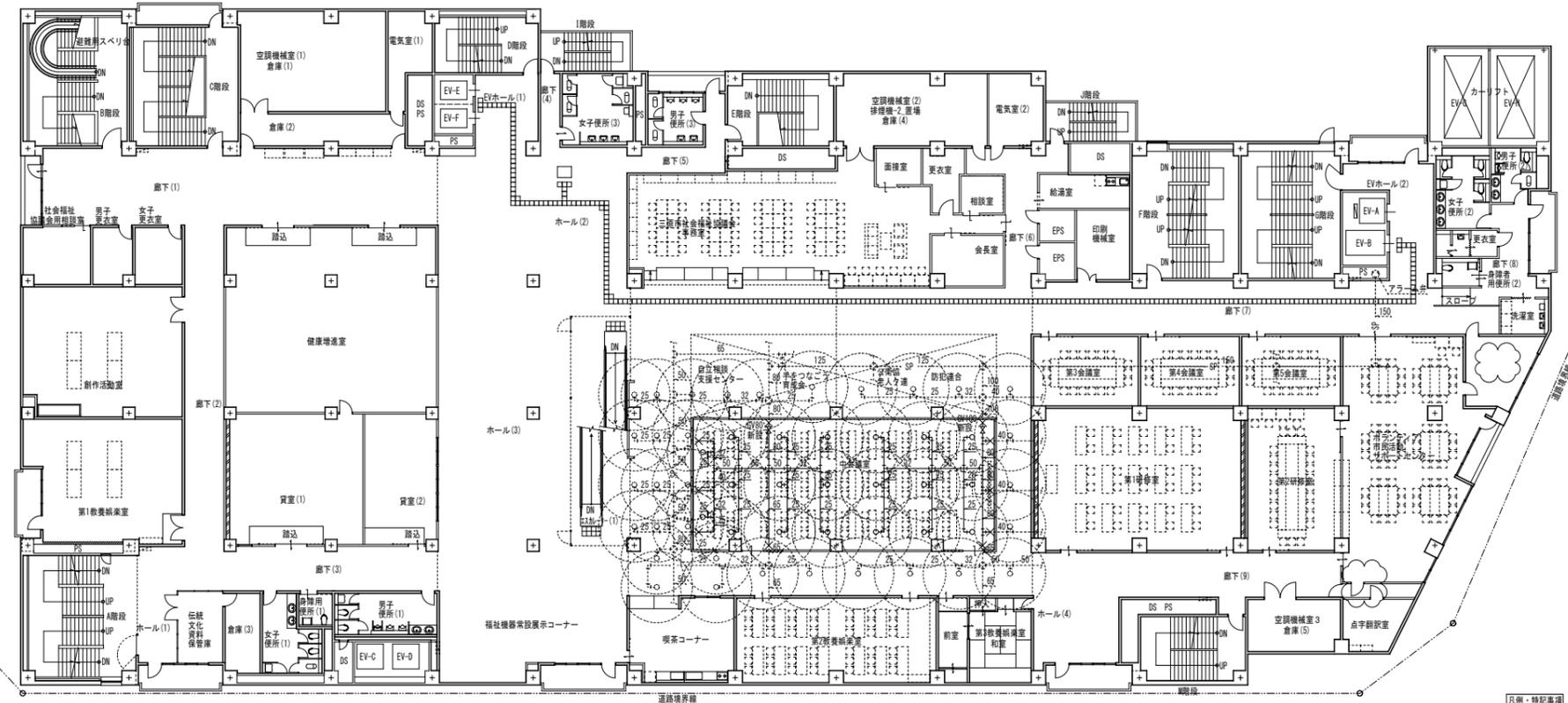
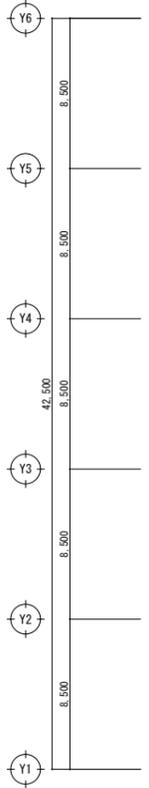


株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES

一級建築士事務所 第301045号
大谷 健 剛
承 認
工事名
ペアシティ三原西館再編改修工事 (給排水衛生設備工事)

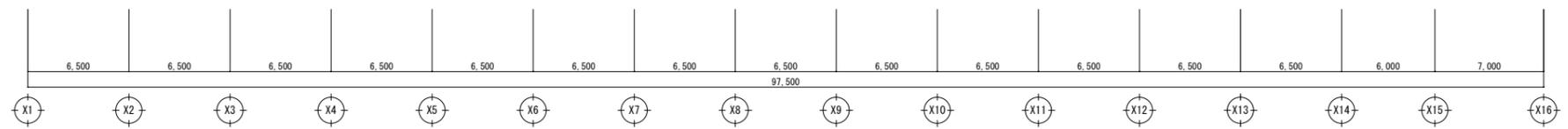
図面内容・縮尺 庁舎
4階消火平面図 (改修前)

設計
令和元年9月
図面番号
M
23



○ SPヘッド 第2種ヘッド72℃
R=2.3m

- 凡例・特記事項
1. 破線表記は既設を示す。
 2. ---x--- : 既設配管接続箇所を示す。
 3. -x-x- : 既設配管合流・分岐箇所を示す。
 4. ||--- : 既設配管閉塞箇所を示す。
 5. ● : 穴明け補修箇所を示す。(ダイヤモンドカッターによる)
 6. 改修に伴うはつり後の仕上げ、建築工事とする。
 7. 更新する特記無き配管は地下で施工とする。



A1版: 100% A2版: 71% A3版: 50%	株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES	一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第 1573号	一級建築士 第301045号 大谷 健 剛 承認	工事名 ペアシティ三原西館再編改修工事(給排水衛生設備工事)	図面内容・縮尺 庁舎 4階消火平面図(改修後)	設計 令和元年9月 図面番号 M 24
-----------------------------------	---	----------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	----------------------------	---------------------------------

参 考 数 量 書

工 事 名 称

ペアシティ三原西館再編改修工事（給排水衛生設備工事）

[工事概要]

三原市城町一丁目

用途, 構造, 面積	用途: 店舗, 事務所, ホテル, 児童館, 老人大学等 構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造7階建て 延べ床面積: 21,374.7㎡	
工 事 範 囲	一 式	
別 途 工 事	建築主体工事, 電気設備工事, 空調換気設備工事, 長寿命化改修工事	
工 期	契約締結日の翌日から 令和2年7月30日までを工期とする.	
一 般 事 項		
《工事予算内訳》 設計金額 ￥ (税込み)		
〈内 訳〉		
区 分	金 額	摘 要
工 事 価 格		
消 費 税 額		
設 計 金 額		

機械設備工事 中科目別内訳

ペアシティ三原西館再編改修工事（給排水衛生設備工事）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
衛生器具設備	衛生器具設備	1	式		
計					
給水設備	給水設備	1	式		
計					
排水設備	排水設備	1	式		
計					
消火設備	消火設備	1	式		
計					
ガス設備	都市ガス設備	1	式		
計					
撤去工事	衛生器具設備	1	式		
撤去工事	給水設備	1	式		
撤去工事	排水設備	1	式		
撤去工事	消火設備	1	式		
計					

機械設備工事 細目別内訳

ペアシティ三原西館再編改修工事（給排水衛生設備工事） 衛生器具設備				衛生器具設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
洋風大便器	CFS494MNRNA, TCF5820ADPR(洗浄便座)	2	組			
紙巻器	YH702	3	個			
壁掛手洗器	L650D, TENA40A	2	組			
化粧鏡	YM3545F	4	枚			
洋風大便器 (幼児用)	CS310B, TEFV10YUH, TCF41R	1	組			
小便器 (幼児用)	U310GY	1	組			
洗面器	L710C, TENA41A	1	組			
化粧鏡	YM3580FC	1	枚			
ハビシート	YKA24R	1	組			
電気温水器	REW061B1H	1	組			
シンク排水-混合水 栓	TKS05303J	3	個			
横水栓	T130AUN13C	17	個			
計						

機械設備工事 細目別内訳

ペアシティ三原西館再編改修工事（給排水衛生設備工事） 給水設備				給水設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水・耐衝撃性 ポリ塩ビ管(HIVP)	屋内一般 20A	132	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 屋内一般 20A	24	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 屋内一般 25A	32	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 屋内一般 32A	8	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 屋内一般 40A	4	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 機械室・便所 20A	9	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 機械室・便所 25A	4	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 機械室・便所 32A	1	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 機械室・便所 50A	5	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB)	ねじ接合 屋外架空・暗渠 20A	4	m			
青銅仕切弁	5K(ねじ) 20A	15	個			
仕切弁 (管端防食ｺ)	5K(ねじ・給水用) 20A	2	個			
仕切弁 (管端防食ｺ)	5K(ねじ・給水用) 40A	1	個			
仕切弁 (管端防食ｺ)	5K(ねじ・給水用) 50A	1	個			
Y形ストレーナ-	10K 20A	14	個			

機械設備工事 細目別内訳

ペアシティ三原西館再編改修工事（給排水衛生設備工事） 排水設備				排水設備			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 50A	58	m				
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 65A	22	m				
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 50A	20	m				
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 75A	11	m				
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 100A	6	m				
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋外架空・暗渠 50A	3	m				
床上掃除口 取付 (COA)	50A	2	個				
床上掃除口 取付 (COA)	65A	1	個				
配管分岐 (樹脂管類)・手間のみ	配管分岐 65A 保温無	3	か所				
配管分岐 (樹脂管類)・手間のみ	配管分岐 100A 保温無	4	か所				
配管切断 (樹脂管類)・手間のみ	配管切断 50A 保温無	5	か所				
配管切断 (樹脂管類)・手間のみ	配管切断 80A 保温無	1	か所				
はつり補修		1	式			別紙 00-0004	
計							

機械設備工事 細目別内訳

ペアシティ三原西館再編改修工事（給排水衛生設備工事） 消火設備				消火設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
消火・圧力配管用 炭素鋼鋼管(白)	ねじ接合 屋内一般 25A	568	m			
消火・圧力配管用 炭素鋼鋼管(白)	ねじ接合 屋内一般 32A	67	m			
消火・圧力配管用 炭素鋼鋼管(白)	ねじ接合 屋内一般 40A	51	m			
消火・圧力配管用 炭素鋼鋼管(白)	ねじ接合 屋内一般 50A	52	m			
消火・圧力配管用 炭素鋼鋼管(白)	溶接接合 屋内一般 65A	83	m			
消火・圧力配管用 炭素鋼鋼管(白)	溶接接合 屋内一般 80A	47	m			
消火・圧力配管用 炭素鋼鋼管(白)	溶接接合 屋内一般 100A	8	m			
消火・圧力配管用 炭素鋼鋼管(白)	溶接接合 屋内一般 150A	29	m			
ス° リンカーヘッド	第2種 閉鎖形	265	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ) 32A	1	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ) 40A	1	個			
ねずみ鑄鉄仕切弁	10K(フランジ) 80A(外ねじ)	3	個			
ねずみ鑄鉄仕切弁	10K(フランジ) 100A(外ねじ)	1	個			
配管分岐 (鋼管類) ・手間のみ	配管分岐 25A 保温無	13	か所			
配管分岐 (鋼管類) ・手間のみ	配管分岐 32A 保温無	2	か所			

機械設備工事 細目別内訳

ペアシティ三原西館再編改修工事（給排水衛生設備工事）撤去工事				衛生器具設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
和風便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	1	組			
紙巻器撤去	再使用しない	1	個			
小便器撤去	洗浄弁式床置小便器 再使用しない	1	組			
掃除流し撤去	ハック付き掃除流し 再使用しない	1	組			
洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再使用しない	1	組			
鏡撤去	再使用しない	1	枚			
1槽水切りシンク 流し台撤去	再使用しない	1	組			
3槽水切りシンク 流し台撤去	再使用しない	1	組			
自在水栓撤去	再使用しない	1	個			
混合水栓撤去	再使用しない	1	個			
計						

機械設備工事 別紙明細

ペアシティ三原西館再編改修工事（給排水衛生設備工事） 給水設備				給水設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温工事		1	式			別紙 00-0001
給水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 20A	165	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 25A	36	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 32A	9	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 40A	4	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 50A	5	m			
給水管 保温	グラスウール 暗渠内 着色アルミガラスウール 20A	4	m			
計						
はつり補修		1	式			別紙 00-0002
機械はつり(ダクト カット-による 配管用貫通口) 計	200mm程度 100mm	9	か所			

